対象校No.　　学校コード F141310111140

注４　　注３

設置年度　令和　6年度

計画の区分：　学部等連係課程実施基本組織の設置

注１

届出

注2

西九州大学　デジタル社会共創学環

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書
（改正後大学設置基準適用）

学校法人永原学園
令和７年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名	事務局
職名・氏名	事務局長（ジムキョクチョウ）・吉野（ヨシノ）　明（アキラ）
電話番号	０９５２－５２－４１９１
（夜間）	０９５２－５２－４１９１
ｅ－mail	syomu@nisikyu-u.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「○○大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例）　○○大学　△△学部　□□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「○○大学」
・学部の設置の場合：「○○大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「○○大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「○○大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院　○○研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院　○○研究科　○○専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「○○大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

４　対象校No.については、「【別紙】令和７年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

デジタル社会共創学環

ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７

３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１７

４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１８

５．教育研究実施組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１９

６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４６

７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４８

1　調査対象大学等の概要等

（1） 設　置　者

学校法人永原学園

（2） 大　学　名

西九州大学

（3） 調査対象大学等の位置

〒842－8585
佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4） 管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ ﾌｸﾓﾄ　ﾕｳｼﾞ ） 福元　裕二 （平成 20年 4月）		
学　　長	（ ﾌｸﾓﾄ　ﾕｳｼﾞ ） 福元　裕二 （令和 5年 4月）		
学 部 長	（ ｲﾓﾄ　ﾋﾛﾕｷ ） 井本　浩之 （令和 6年 4月）		
学科長等			

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
（ ）書きで記入してください。
（例）令和６年度に報告する内容 →（６）
令和７年度に報告する内容 →（７）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告
された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５） 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

(注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位
（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、
別ファイルにて提出してください。
・ 様式は、令和２年度開設の４年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和７年度までの６年間）ですが、
設置計画履行状況等調査の対象期間が７年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、
我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程
を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
デジタル社会共創学環 学士（デジタル社会共創学）	文学関係 社会学・社会福祉学関係	4 年	60 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	240 人		

(注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１）又は（その２の２））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、
「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「－」を選択。）

（５）－② 調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	－人 － （ － ） [－]	－人 － （ － ） [－]	－人 － （ － ） [－]	－人 － （ － ） [－]	－人 － （ － ） [－]	－人 － （ － ） [－]	－人 － （ － ） [－]	－人 － （ － ） [－]	60人 60 （ － ） [－]	－人 － （ － ） [－]	60人 60 （ － ） [－]	－人 － （ － ） [－]		0.79倍	－倍	健康栄養学部健康栄養学科から入学定員３０名及び収容定員１２０名、健康福祉学部社会福祉学科から入学定員３０名及び収容定員１２０名を活用している。
志願者数	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	58 （ － ） [22]	－ （ － ） [－]	64 （ － ） [34]	－ （ － ） [－]				
受験者数	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	58 （ － ） [22]	－ （ － ） [－]	62 （ － ） [33]	－ （ － ） [－]				
合格者数	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	58 （ － ） [22]	－ （ － ） [－]	61 （ － ） [33]	－ （ － ） [－]				
B 入学者数	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	42 （ － ） [22]	－ （ － ） [－]	53 （ － ） [32]	－ （ － ） [－]				
入学定員超過率 B／A	－		－		－		－		0.70		0.88					

(注)・ 報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「－」を記入してください。
・ （ ）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、
(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ [ ]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）
に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
・「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。
なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、
下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「－」を選択。）
・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和８年度開設用）Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。また、完成年度を越えて
報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」
第１条第２項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第２項及び第４項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
・「（５）－② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、
「４ 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	42 [22] (－)	－ [－] (－)	53 [32] (－)	－ [－] (－)	
２年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	42 [22] (－)	－ [－] (－)	
３年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
４年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計	－ [－] (－)		－ [－] (－)		－ [－] (－)		－ [－] (－)		42 [22] (－)		95 [54] (－)		

(注)・ 報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・[　]内には、留学生の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・（ ）内には、留年者の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
・「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分／対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 （留学生の理由は[ ]書き）
			入学した年度	退学者数	うち留学生数	
令和2年度	－ 人	－ 人	令和2年度	－ 人	－ 人	
令和3年度	－ 人	－ 人	令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
令和4年度	－ 人	－ 人	令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
			令和4年度	－ 人	－ 人	
令和5年度	－ 人	－ 人	令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
			令和4年度	－ 人	－ 人	
			令和5年度	－ 人	－ 人	
令和6年度	42 人	0 人	令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
			令和4年度	－ 人	－ 人	
			令和5年度	－ 人	－ 人	
			令和6年度	－ 人	－ 人	
令和7年度	95 人	0 人	令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
			令和4年度	－ 人	－ 人	
			令和5年度	－ 人	－ 人	
			令和6年度	－ 人	－ 人	
			令和7年度	－ 人	－ 人	
合　計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の５月１日現在の数字を記入してください。 （過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・修学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

令和2年度の退学者数(a) / 令和2年度の在学者数(a+b) ＝ － / #VALUE! ＝ － %

【令和3年度】

令和3年度の退学者数(a) / 令和3年度の在学者数(a+b) ＝ － / #VALUE! ＝ － %

【令和4年度】

令和4年度の退学者数(a) / 令和4年度の在学者数(a+b) ＝ － / #VALUE! ＝ － %

【令和5年度】

令和5年度の退学者数(a) / 令和5年度の在学者数(a+b) ＝ － / #VALUE! ＝ － %

【令和6年度】

令和6年度の退学者数(a) / 令和6年度の在学者数(a+b) ＝ 0 / 42 ＝ 0 %

【令和7年度】

令和7年度の退学者数(a) / 令和7年度の在学者数(a+b) ＝ 0 / 95 ＝ 0 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

2　授業科目の概要

＜デジタル社会共創学環＞

（1）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育科目	キャリア形成	あすなろう（初年次教育含）	1通		2			11	2	3			兼2
		地球環境・SDGs入門	1前		2			3					兼5
		関連職種連携入門	1前			2				1			兼12
	人間・文化・科学	心理学入門	1・2前		2								兼1
		現代社会と倫理	1・2前			2		1					
		人間論と現代思想	1・2後			2		1					
		文学と言語	1・2前			2							兼1
		生涯学習論	1・2前			2							兼1
		肥前の歴史と文化	1・2後		2								兼1
		脳と認知科学	1・2後			2							兼1
		法学	1・2前			2							兼1
		日本国憲法	1・2後			2							兼1
		グローバル化と異文化共	1・2前			2							兼1
		文化人類学	1・2後		2								兼1
		変わりゆく国際社会を生	1・2後			2		1					
		多文化社会学	1・2前		2			1					
		くらしと経済	1・2前			2							兼1
		ジェンダー論	1・2後			2							兼1
		生命のしくみ	1・2前			2							兼1
		生物と環境	1・2後			2							兼1
		身近な生活の化学	1・2前			2							兼1
		統計学の基礎	1・2前		2								兼1
		身近な世界の物理学	1・2前			2							兼1
		地球環境科学	1・2後			2							兼1
		健康スポーツ科学	1・2後			2							兼1
		フィットネス・スポーツ	1前			1							兼1
		ウェルネス・スポーツ	1後			1							兼1
	外国語によるコミュニケーション理解	英語コミュニケーション	1前		1								兼2
		英語コミュニケーション	1後		1								兼2
		SDGs英語	2後		1				1				
		World Issues（世界事情	1・2前			2			1				兼6
		語学研修	1・2・3・4前・後			1			1				
		中国語	1前			1							兼1
		韓国語	1後			1							兼1
		日本語初級	1前			1							兼1
		日本語中級	1後			1							兼1
		日本語上級	1後			1							兼1
	データサイエンスの理解	データサイエンス入門	1前		2			2					兼7
		データサイエンス演習	1後		1			2		1			
	小計（39科目）		－		20	46	0	11	2	3	0	0	兼51

【令和７年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	基幹教員等の配置 教授	基幹教員等の配置 准教授	基幹教員等の配置 講師	基幹教員等の配置 助教	基幹教員等の配置 助手	基幹教員以外の教員（〜助手を除く）
共通教育科目	初年次教育・キャリア形成	**あすなろう**	1通	○	2			**6**	**3**	**1**	**1**		14
		地球環境・SDGs入門	1前	○	2			**1**					10
		関連職種連携入門	1前			2		**1**	**1**				11
	社会と文化	心理学入門	1・2前	○	2			**1**					
		現代社会と倫理	1・2前			2		1					
		人間論と現代思想	1・2後			2		1					
		文学と言語	1・2前			2							1
		生涯学習論	1・2前			2							1
		肥前の歴史と文化	1・2後	○	2								1
		脳と認知科学	1・2後			2							1
		法学	1・2前			2							1
		日本国憲法	1・2後			2							1
		グローバル化と異文化共生	1・2前			2							1
		文化人類学	1・2後	○	2								1
		変わりゆく国際社会を生きる	1・2後			2		1					1
		多文化社会学	1・2前	○	2			1					1
		くらしと経済	1・2前			2							1
		ジェンダー論	1・2後			2							1
		生命のしくみ	1・2前			2							1
		生物と環境	1・2後			2							1
		身近な生活の化学	1・2前			2							1
		統計学の基礎	1・2前	○	2								1
		身近な世界の物理学	1・2前			2							1
		地球環境科学	1・2後			2							1
		健康スポーツ科学	1・2後			2							1
		フィットネス・スポーツ	1前			1							4
		ウェルネス・スポーツ	1後			1							6
	情報リテラシー	データサイエンス入門	1前	○	2			**3**	**1**		**1**		2
		データサイエンス演習	1後	○	1			2	**1**		**1**		
		情報処理演習	2前	○	**1**			**3**	**1**				
	グローバルコミュニケーション	英語コミュニケーションⅠ	1前	○	1				**1**				6
		英語コミュニケーションⅡ	1後	○	1				**1**				6
		SDGs英語	2後	○	1				1				
		World Issues（世界事情）	1・2前	○		2			1				6
		語学研修	1・2・3・4前・後			1			1				
		中国語	1前・後			1							2
		韓国語	1後			1							1
		日本語Ⅰ	1前			**1**							1
		日本語Ⅱ	1前			**1**							1
		日本語Ⅲ	1後			**1**			**1**				
		日本語検定Ⅰ	1後			**1**							1
		日本語検定Ⅱ	1後			**1**							1
		日本語検定Ⅲ	2前			**1**			**1**				
	高大接続科目	**栄養学へのとびら**	高校生対象科目（入学後に単位認定）			**1**		**1**					11
		社会福祉学へのとびら				**1**		**2**					7
		スポーツ科学へのとびら				**1**		**1**					6
		リハビリテーション学へのとびら				**1**							12
		保育学・教育学へのとびら				**1**							10
		心理学へのとびら				**1**							8
		看護学へのとびら				**1**							10
		データサイエンスへのとびら				**1**		**4**	**1**	**1**	**1**		
	小計（51科目）		－		**21**	**57**	0	**10**	**4**	**1**	**1**	0	104

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	社会学・社会福祉学関連	社会福祉原論Ⅰ	1前		2								兼1
		社会福祉原論Ⅱ	1後			2							兼1
		高齢者福祉論	3前			2							兼1
		児童・家庭福祉論	2前			2							兼1
		社会保障論Ⅰ	2前		2								兼1
		社会保障論Ⅱ	2後			2							兼1
		精神保健学Ⅰ	3前			2		1					
		精神保健学Ⅱ	3後			2		1					
		科学的介護論	2後			2							兼3
		社会学と社会システム	1後		2			1					
		社会調査の基礎	3前			2		1					
		アジアの社会と文化	2後			2							兼1
		ダイバーシティ論	1後			2		2					兼1
		多文化共生論	3前			2							兼1
		NPO・NGO論	2後			2							兼1
		フィールドワーク論	2後			2							兼1
		小計(16科目)	－		6	26	0	4	0	0	0	0	兼11
	心理学関連	発達心理学Ⅰ	1前			2							兼1
		発達心理学Ⅱ	1後			2							兼1
		臨床心理学概論	2前		2								兼1
		社会・集団心理学	2前			2							兼1
		産業・組織心理学	3後			2							兼1
		乳幼児心理学	3前			2							兼1
		高齢者心理学	3後			2							兼1
		福祉心理学	3後			2		1					
		仮想空間と心理学	4前		2			1					兼1
		心理学と社会課題	2後		2			1					兼1
		暮らしに潜む罠	1前		1			1					
		心理データ解析法	3前			2							兼1
		フィールドワークスタディ	3前			2		1					
		小計(13科目)	－		7	18	0	1	0	0	0	0	兼7
	多文化理解	異文化理解	1前			2							兼1
		観光学入門	3後			2							兼1
		日本文化理解	1後			2							兼1
		観光ビジネス論	1後			2							兼1
		ホテルビジネス論	2後			2							兼1
		旅行業務	2前			2							兼1
		マーケット論	3後			2							兼1
		TOEIC Ⅰ	1前			1							兼1
		TOEIC Ⅱ	1後			1							兼1
		Academic English Ⅰ	2前			1							兼1
		Academic English Ⅱ	2後			1							兼1
		グローバルスタディーズ	3前			2			1				兼5
		グローバル経済とビジネス	3前			2							兼1
		グローバルリーダーシップ	3前			2			1				
		English Camp	2後			4			2				
		留学準備演習	3通			2			2				
		留学	3通			4			2				
		小計(17科目)	－		0	34	0	0	2	0	0	0	兼14
	ＩＣＴ活用	情報メディア入門	1前		2			1					兼1
		情報メディア演習Ⅰ	2前		1			1					
		情報メディア演習Ⅱ	2後		1			1					
		情報メディア演習Ⅲ	3前			1							兼1
		情報メディア演習Ⅳ	3後			1							兼1
		情報数学入門	1後			2		1					
		メタバース論	2前		2								兼1
		メタバース演習	2後			1							兼1
		データアナリティクス概論	3後			2							兼1
		情報ネットワーク論	2前			2							兼1
		情報ネットワーク演習	2後			1							兼1
		ソーシャルメディア論	1後			2							兼1
		AIとビッグデータ論	2前			2							兼1
		社会データ分析	2前			2		1					
		社会データ分析演習	2後			1		1					
		デジタルユニバーサルデザイン論	2後			2							兼1

【令和７年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	基幹教員等の配置 教授	基幹教員等の配置 准教授	基幹教員等の配置 講師	基幹教員等の配置 助教	基幹教員等の配置 助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）
専門教育科目	社会学・社会福祉学関連	社会福祉原論Ⅰ	1前	○	2								1
		社会福祉原論Ⅱ	1後			2							1
		高齢者福祉論	3前			2							1
		児童・家庭福祉論	2前			2							1
		社会保障論Ⅰ	2前	○	2								1
		社会保障論Ⅱ	2後			2							1
		精神保健学Ⅰ	3前			2		1					
		精神保健学Ⅱ	3後			2		1					
		科学的介護論	2後			2							3
		社会学と社会システム	1後	○	2			1					
		社会調査の基礎	3前			2		1					
		アジアの社会と文化	2後			2							1
		ダイバーシティ論	1後			2		2					1
		多文化共生論	3前			2							1
		NPO・NGO論	2後			2							1
		フィールドワーク論	2後			2							1
		小計(16科目)	－		6	26	0	4	0	0	0	0	11
	心理学関連	発達心理学Ⅰ	1前			2							1
		発達心理学Ⅱ	1後			2							1
		臨床心理学概論	2前	○	2			1					0
		社会・集団心理学	2前			2							1
		産業・組織心理学	3後			2							1
		乳幼児心理学	3前			2							1
		高齢者心理学	3後			2							1
		福祉心理学	3後			2		1					0
		仮想空間と心理学	4前	○	2			1					1
		心理学と社会課題	2後	○	2			1					1
		暮らしに潜む罠	1前	○	1			1					0
		心理データ解析法	3前			2							1
		フィールドワークスタディ	3前			2		1					0
		小計(13科目)	－		7	18	0	1	0	0	0	0	7
	多文化理解	異文化理解	1前			2			1				0
		観光学入門	3後			2							1
		日本文化理解	1後			2							1
		観光ビジネス論	1後			2							1
		ホテルビジネス論	2後			2							1
		旅行業務	2前			2							1
		マーケット論	3後			2							1
		TOEIC Ⅰ	1前	○		1							1
		TOEIC Ⅱ	1後	○		1							1
		Academic English Ⅰ	2前	○		1							1
		Academic English Ⅱ	2後	○		1							1
		グローバルスタディーズ	3前	○		2			1				4
		グローバル経済とビジネス	3前	○		2							1
		グローバルリーダーシップ	3前	○		2			1				0
		English Camp	2後	○		4			2				0
		留学準備演習	3通	○		2			2				0
		留学	3通	○		4			2				0
		小計(17科目)	－		0	34	0	0	2	0	0	0	11
	ＩＣＴ活用	情報メディア入門	1前	○	2			1					1
		情報メディア演習Ⅰ	2前	○	1			1					0
		情報メディア演習Ⅱ	2後	○	1			1					0
		情報メディア演習Ⅲ	3前			1							1
		情報メディア演習Ⅳ	3後			1							1
		情報数学入門	1後	○		2			1				0
		メタバース論	2前	○	2								1
		メタバース演習	2後			1							1
		データアナリティクス概論	3後			2							1
		情報ネットワーク論	2前	○		2							1
		情報ネットワーク演習	2後			1							1
		ソーシャルメディア論	1後			2							1
		AIとビッグデータ論	2前			2							1
		社会データ分析	2前	○		2		2					0
		社会データ分析演習	2後			1		2					0
		デジタルユニバーサルデザイン論	2後			2							1

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	ICT活用	コンピュータのための物理学	2後			2							兼1
		映像制作の基本	2後			2							兼1
		映像制作演習	3前			1							兼1
		プログラム基礎論	3前			2							兼1
		アルゴリズムとデータ構造	3前			2							兼1
		リモート学習支援技術	3前			2				1			
		e-sports論	3前		2			1	1				
		e-sports演習	3後			1			1				
		ウェブコンテンツ演習	3後			1							兼1
		グラフィックデザイン演習	2後			1							兼1
		小計(26科目)	－		8	33	0	3	1	1	0	0	兼7
	コミュニケーション	文字と言葉	1後			2							兼1
		音楽とコミュニケーション	1前			2							兼1
		デジタル・コミュニケーション支援学概論	1後		2			1	1				
		デジタル・コミュニケーション支援学演習	2前			1			1				
		デジタル・コミュニケーション支援学特論	4後			2		1	1				
		プレゼンテーション論	2前		2								兼1
		テレコミュニケーション倫理	2後		2			1					
		教育とコミュニケーション	1前			2		2					兼1
		身体コミュニケーション	2後			2							兼1
		レクリエーション支援論	2前			2		1					兼1
		レクリエーション支援演習	2後			2		1					兼1
		小計(11科目)	－		6	15	0	5	1	0	0	0	兼5
	課題探求	地域デザイン論	2後			2							兼1
		地域の食産業	2前			2							兼8
		食品栄養学	2後			2		1					
		ボランティア活動	2・3通			2		3	1				
		インターンシップ	3通			2		4					兼1
		PBL特別演習	3前		2			6	2	3			兼1
		PBLゼミナールⅠ	2前		1			8	3				兼1
		PBLゼミナールⅡ	2後		1			8	3				兼1
		PBLゼミナールⅢ	3前		1			7	3				兼1
		PBLゼミナールⅣ	3後		1			7	3				兼1
		卒業研究	4通		4			7	2				兼1
		小計(11科目)	－		10	10	0	11	3	3	0	0	兼10
	小計(94科目)		－		37	##	0	11	3	3	0	0	兼53
合計(133科目)			－		57	##	0	11	3	3	0	0	兼92

卒業要件及び履修方法

【卒業要件】:下記履修方法により、総計124単位以上を修得。

●グローバルコース
○共通教育科目群から、必修科目20単位、選択科目8単位以上修得。
○専門教育科目群から、必修科目37単位、コース必修科目16単位、選択科目(コース必修科目を除く)43単位以上修得。

＜コース必修科目＞
TOEIC Ⅰ(1)、TOEIC Ⅱ(1)、Academic English Ⅰ(1)、Academic English Ⅱ(1)、グローバルスタディーズ(2)、English Camp(4)、留学準備演習(2)、留学(4)

●情報メディアコース
○共通教育科目群から、必修科目20単位、選択科目8単位以上修得。
○専門教育科目群から、必修科目37単位、コース必修科目14単位、選択科目(コース必修科目を除く)45単位以上修得。

＜コース必修科目＞
情報数学入門(2)、情報ネットワーク論(2)、社会データ分析(2)、プログラム基礎論(2)、文字と言葉(2)、身体コミュニケーション(2)、インターンシップ(2)

(履修科目の登録の上限:46単位(年間))

【令和７年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	基幹教員等の配置 教授	基幹教員等の配置 准教授	基幹教員等の配置 講師	基幹教員等の配置 助教	基幹教員等の配置 助手	基幹教員以外の教員(助手を除く)
	ICT活用	コンピュータのための物理学	2後			2							1
		映像制作の基本	2後			2							1
		映像制作演習	3前			1							1
		プログラム基礎論	3前	○		2							1
		アルゴリズムとデータ構造	3前			2							1
		リモート学習支援技術	3前			2				1			0
		e-sports論	3前	○	2			1	1				0
		e-sports演習	3後			1			1				0
		ウェブコンテンツ演習	3後			1							1
		グラフィックデザイン演習	2後			1							1
		小計(26科目)	－		8	33	0	4	2	1	0	0	8
	コミュニケーション	文字と言葉	1後	○		2							1
		音楽とコミュニケーション	1前			2							1
		デジタル・コミュニケーション支援学概論	1後	○	2			1	1				1
		デジタル・コミュニケーション支援学演習	2前			1			1				4
		デジタル・コミュニケーション支援学特論	4後			2		1	1				0
		プレゼンテーション論	2前	○	2								1
		テレコミュニケーション倫理	2後	○	2			1		1			0
		教育とコミュニケーション	1前			2		1		1			1
		身体コミュニケーション	2後	○		2							1
		レクリエーション支援論	2前			2		1					1
		レクリエーション支援演習	2後			2		1					1
		小計(11科目)	－		6	15	0	4	1	1	0	0	11
専門教育科目	課題探求	地域デザイン論	2後			2							2
		地域の食産業	2前			2							8
		食品栄養学	2後			2		1					0
		ボランティア活動	2・3通			2		2	1				0
		インターンシップ	3通	○		2		4					1
		PBL特別演習	3前	○	2			5	3	2			1
		PBLゼミナールⅠ	2前	○	1			3	3	1			0
		PBLゼミナールⅡ	2後	○	1			3	3	1			0
		PBLゼミナールⅢ	3前	○	1			6	3				1
		PBLゼミナールⅣ	3後	○	1			6	3				1
		卒業研究	4通		4			6	2				1
		小計(11科目)	－		10	10	0	10	4	3	0	0	12
	小計(94科目)		－		37	136	0	12	5	3	0	0	56
合計(145科目)			－		58	193	0	12	5	3	1	0	148

卒業要件及び履修方法

【卒業要件】:下記履修方法により、総計125単位以上を修得。原則として、GPA(*)2.0以上。
*Grade Point Average

＜留学生選択必修科目＞
留学生は、日本語Ⅰ(1)、日本語Ⅱ(1)、日本語Ⅲ(1)、日本語検定Ⅰ(1)、日本語検定Ⅱ(1)、日本語検定Ⅲ(1)の6科目の中から2単位以上修得。

●グローバルコース
○共通教育科目群から、必修科目21単位、選択科目8単位以上修得。
○専門教育科目群から、必修科目37単位、コース必修科目16単位、選択科目(コース必修科目を除く)43単位以上修得。

＜コース必修科目＞
TOEIC Ⅰ(1)、TOEIC Ⅱ(1)、Academic English Ⅰ(1)、Academic English Ⅱ(1)、グローバルスタディーズ(2)、English Camp(4)、留学準備演習(2)、留学(4)

●情報メディアコース
○共通教育科目群から、必修科目21単位、選択科目8単位以上修得。
○専門教育科目群から、必修科目37単位、コース必修科目14単位、選択科目(コース必修科目を除く)45単位以上修得。

＜コース必修科目＞
情報数学入門(2)、情報ネットワーク論(2)、社会データ分析(2)、プログラム基礎論(2)、文字と言葉(2)、身体コミュニケーション(2)、インターンシップ(2)

(履修科目の登録の上限:46単位(年間))

【令和６年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次		単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育科目	キャリア形成	あすなろう（初年次教育含）	1通		2			5	3		1		兼14
		地球環境・SDGs入門	1前		2			2					兼6
		関連職種連携入門	1前			2		1		1			兼11
	人間・文化・科学	心理学入門	1・2前		2								兼1
		現代社会と倫理	1・2前			2		1					
		人間論と現代思想	1・2後			2		1					
		文学と言語	1・2前			2							兼1
		生涯学習論	1・2後			2							兼1
		肥前の歴史と文化	1・2後		2								兼1
		脳と認知科学	1・2後			2							兼1
		法学	1・2前			2							兼1
		日本国憲法	1・2後			2							兼1
		グローバル化と異文化共生	1・2前			2							兼1
		文化人類学	1・2後		2								兼1
		変わりゆく国際社会を生きる	1・2後			2		1					兼1
		多文化社会学	1・2前		2			1					兼1
		くらしと経済	1・2前			2							兼1
		ジェンダー論	1・2後			2							兼1
		生命のしくみ	1・2前			2							兼1
		生物と環境	1・2後			2							兼1
		身近な生活の化学	1・2前			2							兼1
		統計学の基礎	1・2前		2								兼1
		身近な世界の物理学	1・2前			2							兼1
		地球環境科学	1・2後			2							兼1
		健康スポーツ科学	1・2後			2							兼2
		フィットネス・スポーツ	1前			1							兼5
		ウェルネス・スポーツ	1後			1							兼6
	高大接続科目	栄養学へのとびら	高校生対象科目（入学後に単位認定）			1		1					兼11
		社会福祉学へのとびら（未開講）				1		2					兼7
		スポーツ科学へのとびら（未開講）				1		1					兼5
		リハビリテーション学へのとびら（未開講）				1							兼12
		保育学・教育学へのとびら				1		1					兼9
		心理学へのとびら				1							兼8
		看護学へのとびら				1							兼12
		データサイエンスへのとびら				1		2	2		1		
	外国語によるコミュニケーション理解	英語コミュニケーションⅠ	1前		1				1				兼5
		英語コミュニケーションⅡ	1後		1				1				兼5
		SDGs英語	2後		1				1				
		World Issues（世界事情）	1・2前			2			1				兼6
		語学研修	1・2・3・4前・後			1			1				
		中国語	1前・後			1							兼2
		韓国語	1後			1							兼1
		日本語初級	1前			1							兼1
		日本語中級	1後			1							兼1
		日本語上級	1後			1							兼1
	データサイエンスの理解	データサイエンス入門	1前		2			2	1	2	1		兼3
		データサイエンス演習	1後		1				1		1		兼4
	情報リテラシー	情報処理演習	2前		1								
	小計（48科目）		－		21	54	0	10	4	2	1	0	兼114
専門教育科目	社会学・社会福祉学関連	社会福祉原論Ⅰ	1前		2								兼1
		社会福祉原論Ⅱ	1後			2							兼1
		高齢者福祉論	3前			2							兼1
		児童・家庭福祉論	2前			2							兼1
		社会保障論Ⅰ	2前		2								兼1
		社会保障論Ⅱ	2後			2							兼1
		精神保健学Ⅰ	3前			2		1					
		精神保健学Ⅱ	3後			2		1					
		科学的介護論	2後			2							兼3
		社会学と社会システム	1後		2			1					
		社会調査の基礎	3前			2		1					
		アジアの社会と文化	2後			2							兼1
		ダイバーシティ論	1後			2		2					兼1
		多文化共生論	3前			2							兼1
		NPO・NGO論	2後			2							兼1
		フィールドワーク論	2後			2							兼1
		小計（16科目）	－		6	26	0	4	0	0	0	0	兼11

【令和６年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次		単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	心理学関連	発達心理学Ⅰ	1前			2							兼1
		発達心理学Ⅱ（未開講）	1後			2							兼1
		臨床心理学概論	2前		2								兼1
		社会・集団心理学	2前			2							兼1
		産業・組織心理学	3後			2							兼1
		乳幼児心理学	3前			2							兼1
		高齢者心理学	3後			2							兼1
		福祉心理学	3後			2		1					
		仮想空間と心理学	4前		2			1					兼1
		心理学と社会課題	2後		2			1					兼1
		暮らしに潜む罠	1前		1			1					
		心理データ解析法	3前			2							兼1
		フィールドワークスタディ	3前			2		1					
		小計（13科目）	－		7	18	0	1	0	0	0	0	兼8
	多文化理解	異文化理解	1前			2							兼1
		観光学入門	3後			2							兼1
		日本文化理解	1後			2							兼1
		観光ビジネス論	1後			2							兼1
		ホテルビジネス論	2後			2							兼1
		旅行業務	2前			2							兼1
		マーケット論	3後			2							兼1
		TOEIC Ⅰ	1前			1							兼1
		TOEIC Ⅱ	1後			1							兼1
		Academic English Ⅰ	2前			1							兼1
		Academic English Ⅱ	2後			1							兼1
		グローバルスタディーズ	3前			2			1				兼5
		グローバル経済とビジネス	3前			2							兼1
		グローバルリーダーシップ	3前			2			1				
		English Camp	2後			4			2				
		留学準備演習	3通			2			2				
		留学	3通			4			2				
		小計（17科目）	－		0	34	0	0	2	0	0	0	兼14
	ＩＣＴ活用	情報メディア入門	1前		2			1					兼1
		情報メディア演習Ⅰ	2前		1			1					
		情報メディア演習Ⅱ	2後		1			1					
		情報メディア演習Ⅲ	3前			1							兼1
		情報メディア演習Ⅳ	3後			1							兼1
		情報数学入門	1後			2		1					
		メタバース論	2前		2								兼1
		メタバース演習	2後			1							兼1
		データアナリティクス概論	3後			2							兼1
		情報ネットワーク論	2前			2							兼1
		情報ネットワーク演習	2後			1							兼1
		ソーシャルメディア論	1後			2							兼1
		AIとビッグデータ論	2前			2							兼1
		社会データ分析	2前			2		1					
		社会データ分析演習	2後			1		1					
		デジタルユニバーサルデザイン論	2後			2							兼1
		コンピュータのための物理学	2後			2							兼1
		映像制作の基本	2後			2							兼1
		映像制作演習	3前			1							兼1
		プログラム基礎論	3前			2							兼1
		アルゴリズムとデータ構造	3前			2							兼1
		リモート学習支援技術	3前			2				1			
		e-sports論	3前		2			1	1				
		e-sports演習	3後			1			1				
		ウェブコンテンツ演習	3後			1							兼1
		グラフィックデザイン演習	2後			1							兼1
		小計（26科目）	－		8	33	0	3	1	1	0	0	兼7

【令和６年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次		単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	コミュニケーション	文字と言葉	1後			2							兼1
		音楽とコミュニケーション	1前			2							兼1
		デジタル・コミュニケーション支援学概論	1後		2			1	1				兼1
		デジタル・コミュニケーション支援学演習	2前			1			1				
		デジタル・コミュニケーション支援学特論	4後			2		1	1				
		プレゼンテーション論	2前		2								兼1
		テレコミュニケーション倫理	2後		2			1					
		教育とコミュニケーション	1前			2		2					兼1
		身体コミュニケーション	2後			2							兼1
		レクリエーション支援論	2前			2		1					兼1
		レクリエーション支援演習	2後			2		1					兼1
		小計（11科目）	－		6	15	0	5	1	0	0	0	兼7
	課題探求	地域デザイン論	2後			2							兼1
		地域の食産業	2前			2							兼8
		食品栄養学	2後			2		1					
		ボランティア活動	2・3通			2		3	1				
		インターンシップ	3通			2		4					兼1
		PBL特別演習	3前		2			6	2	3			兼1
		PBLゼミナールⅠ	2前		1			8	3				兼1
		PBLゼミナールⅡ	2後		1			8	3				兼1
		PBLゼミナールⅢ	3前		1			7	3				兼1
		PBLゼミナールⅣ	3後		1			7	3				兼1
		卒業研究	4通		4			7	2				兼1
		小計（11科目）	－		10	10	0	11	3	3	0	0	兼11
	小計（94科目）		－		37	##	0	11	3	3	0	0	兼53
合計（142科目）			－		58	##	0	11	4	3	1	0	兼153

卒業要件及び履修方法

【卒業要件】：下記履修方法により、総計125単位以上を修得。**原則として、GPA(*)2.0以上。**
***Grade Point Average**

●グローバルコース
〇共通教育科目群から、必修科目21単位、選択科目8単位以上修得。
〇専門教育科目群から、必修科目37単位、コース必修科目16単位、選択科目(コース必修科目を除く)43単位以上修得。

＜コース必修科目＞
TOEIC Ⅰ(1)、TOEIC Ⅱ(1)、Academic English Ⅰ(1)、Academic English Ⅱ(1)、
グローバルスタディーズ(2)、English Camp(4)、留学準備演習(2)、留学(4)

●情報メディアコース
〇共通教育科目群から、必修科目21単位、選択科目8単位以上修得。
〇専門教育科目群から、必修科目37単位、コース必修科目14単位、選択科目(コース必修科目を除く)45単位以上修得。

＜コース必修科目＞
情報数学入門(2)、情報ネットワーク論(2)、社会データ分析(2)、プログラム基礎論(2)、文字と言葉(2)、身体コミュニケーション(2)、インターンシップ(2)

(履修科目の登録の上限：46単位(年間))

（注）・ 報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- 認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
  なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和４年10月１日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、
  改正後大学設置基準等（令和４年10月１日施行）の適用以前については、改正前様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
- 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、
  「専任教員以外の教員（助手を除く）」としてください。
- 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て（基幹教員（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」）以外の教員（助手を除く）（改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼担教員）が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。
  その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
  なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等（令和４年10月１日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、
  「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員（助手を除く）」欄は「兼任・兼担」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」）」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、
  「基幹教員以外の教員（助手を除く）（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員（助手を除く）」）」数は、
  認可時又は届出時の「兼任・兼担」数との比較において変更となっている箇所を**太字の赤字**としてください。
  （専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。）
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
- １ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
- 不要な年度（令和６年度開設であれば令和５年度以前）の表は適宜削除してください。
  （２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
- 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、
  「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
  その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
  新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に（新）又は（旧）と追記してください。
  （例：記載順）【認可時又は届出時】→【令和７年度】(新)→【令和６年度】(新)→【令和５年度】→【令和４年度】→【令和７年度】(旧)→【令和６年度】(旧)

（１）－②授業科目表に関する変更内容

【令和６年度】

・開講期変更により、以下の科目の配当年次を変更
　・生涯学習論　　・中国語

・教育内容の充実を図るために、共通教育科目に科目区分追加し、新規科目を追加
　＜高大接続科目＞
　・栄養学へのとびら　　・社会福祉学へのとびら　　・スポーツ科学へのとびら　　・リハビリテーション学へのとびら
　・保育学・教育学へのとびら　・心理学へのとびら　　・看護学へのとびら　　・データサイエンスへのとびら
　＜情報リテラシー＞
　・情報処理演習(令和７年度より開講のため、担当教員未定)

・上記科目追加に伴い、提供科目数及び単位数を変更
　共通教育科目数：39科目→48科目
　共通教育単位数：必修20単位→21単位、選択：46単位→54単位
　合計科目数：133科目→142科目
　合計単位数：必修57単位→58単位、選択：182単位→190単位

・教育的効果を考慮し、以下科目の専任教員及び兼担・兼任の配置を変更
　・あすなろう（初年次教育含）　・地球環境・SDGs入門　　・関連職種連携入門　　・変わりゆく国際社会を生きる　・多文化社会学
　・健康スポーツ科学　　・フィットネス・スポーツ　・ウェルネス・スポーツ　・英語コミュニケーションⅠ　　・英語コミュニケーションⅡ
　・中国語　　・データサイエンス入門　　・データサイエンス演習

・上記の教員配置変更に伴い、共通教育科目の教員数（実数）の小計・合計を変更

・兼任講師の配置変更により、専門科目の教員数（実数）の小計・合計を変更

・情報処理演習を必修科目として追加したため、共通教育科目の卒業要件単位数および卒業要件合計単位数について、１単位増加

・卒業要件として、「原則として、GPA(*)2.0以上 *Grade Point Average」を追加。

【令和７年度】

・改正後大学設置基準（令和４年10月１日施行）の適用に伴う教員配置表記の変更。

・主要授業科目の列を追加。

・教育内容の充実を図るために、共通教育科目の科目名および科目区分を変更、日本語の科目建てを変更。
　＜科目名の変更＞
　あすなろう（初年次教育含む）　→　あすなろう
　＜科目区分の名称変更＞
　キャリア形成　→　初年次教育・キャリア形成
　人間・文化・科学　→　社会と文化
　外国語によるコミュニケーション理解　→　グローバルコミュニケーション
　データサイエンスの理解　→　情報リテラシーに統合
　＜科目区分の表示順序変更＞
　「キャリア形成」－「人間・文化・科学」－「高大接続科目」－「外国語によるコミュニケーション理解」－「データサイエンスの理解」－「情報リテラシー」
→「初年次教育・キャリア形成」－「社会と文化」－「情報リテラシー」－「グローバルコミュニケーション」－「高大接続科目」
　＜日本語科目の変更＞
　日本語初級、日本語中級、日本語上級　→　日本語Ⅰ、日本語Ⅱ、日本語Ⅲ、日本語検定Ⅰ、日本語検定Ⅱ、日本語検定Ⅲ

・上記科目変更に伴い、提供科目数及び単位数を変更。
　共通教育科目数：48科目→51科目
　共通教育単位数：選択：54単位→57単位
　合計科目数：142科目→145科目
　合計単位数：選択：190単位→193単位

・卒業要件として、「留学生は、日本語Ⅰ(1)、日本語Ⅱ(1)、日本語Ⅲ(1)、日本語検定Ⅰ(1)、日本語検定Ⅱ(1)、日本語検定Ⅲ(1)の6科目の中から2単位以上修得。」を追加。

・基幹教員の着任・昇任、専任教員の退任、および教育的効果を考慮した担当科目変更により、以下科目の教員配置数を変更。
　あすなろう、地球環境・SDGs入門、関連職種連携入門、心理学入門、健康スポーツ科学、フィットネス・スポーツ、データサイエンス入門、データサイエンス演習、　英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、スポーツ科学へのとびら、保育学・教育学へのとびら、看護学へのとびら、データサイエンスへのとびら、臨床心理学概論、異文化理解、グローバルスタディーズ、情報数学入門、社会データ分析、社会データ分析演習、デジタル・コミュニケーション支援学概論、デジタル・コミュニケーション支援学演習、テレコミュニケーション倫理、教育とコミュニケーション、地域デザイン論、ボランティア活動、PBL特別演習、PBLゼミナールⅠ、PBLゼミナールⅡ、PBLゼミナールⅢ、PBLゼミナールⅣ、卒業研究

・上記の教員配置変更に伴い、共通教育科目と専門科目の教員数（実数）の小計・合計を変更。

(注)・ ２（１）-① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、
主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和４年10月１日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員　教授１」から「基幹教員　教授１」に変更）や、兼任・兼担教員から基幹教員以外の教員に変更した場合　（例：「兼任教員１」から「基幹教員以外の教員１」に変更）については、記入しないでください。

・ 不要な年度（令和６年度開設であれば令和５年度以前）の表は適宜削除してください。

・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ１つの枠内に記入してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
33 科目	100 科目	0 科目	133 科目	34 科目 [1]	111 科目 [11]	0 科目 [ ]	145 科目 [12]	

(注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

（3） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

（4） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６）「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{133} = \boxed{0}\ \%$$

(注)・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区　　分		内　　容				備考
(1) 校地等	区　　分	専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	西九州大学短期大学部（必要面積3,800㎡）と共用 借用面積3971.07㎡ 借用期間：30年 登記変更のため(6)
	校舎敷地	39,878 ㎡	14,833 ㎡	0 ㎡	54,711 ㎡	
	その他	84,056 ㎡	11,673 ㎡	0 ㎡	95,729 ㎡	
	合　　計	123,934 ㎡	26,506 ~~26,332~~ ㎡	0 ㎡	150,440 ~~150,266~~ ㎡	
(2) 校舎		専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	西九州大学短期大学部（必要面積3,900㎡）と共用
		29,227 ㎡ （ 29,227 ㎡）	19,682 ㎡ （ 19,682 ㎡）	0 ㎡ （ 0 ㎡）	48,909 ㎡ （ 48,909 ㎡）	
(3)教室・教員研究室		教　　室		教員研究室		学生のPC必携化に伴い、情報処理室を講義室へ変更(6) 令和6年4月 専任助教1名を新規採用のため(6) 令和7年4月 基幹教員教授2名講師1名を新規採用のため(7)
			１６６ ~~１６７~~室		２１ ~~１８~~ ~~１７~~室	

(4) 図書・設備	新設学部等の名称	図書		学術雑誌		機械・器具	標本	備考
		〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	点	点	
	○○学部	164,317〔11,037〕 147,744〔11,032〕 ~~(146,553~~	1,055〔213〕 (1,045〔213〕)	225〔10〕 (232〔4〕) ~~(225〔10〕)~~	10〔8〕 16〔11〕 ~~(10〔8〕)~~	( )	( )	電子図書の項目が増えたことにより、新たに予定数を設定するとともに、図書の数値も電子図書を除いた数値に修正した。 学術雑誌及び電子ジャーナルについては、購読雑誌に変更があったため、修正を行った。
	計	164,317〔11,037〕 147,744〔11,032〕 ~~(146,553~~	1,055〔213〕 (1,045〔213〕)	225〔10〕 (232〔4〕) ~~(225〔10〕)~~	10〔8〕 16〔11〕 ~~(10〔8〕)~~	( )	( )	

(5) スポーツ施設等	スポーツ施設	講堂	厚生補導施設	
	㎡	㎡	㎡	

(6) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区　　分	開設年度	完成年度	区　　分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員１人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	500千円	1,000千円	1,000千円
		共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	10,000千円	8,000千円	5,000千円

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,120千円	930千円	940千円	950千円	－　千円	－　千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常経費補助金、雑収入等

(注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）又は（その１の３）に準じて作成してください。
（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

- 「(４)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の５月１日現在の数値を記入してください。
- 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（６）」を「備考」に赤字で記入してください。
  なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- 校舎等建物の計画の変更（校舎の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- 高等専門学校については「（３）教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
- 国立大学については「（６）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４　既設大学等の状況

大学の名称	西九州大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
健康栄養学部	4	110	0	470	－	0.74	－	－	平成26	－				
健康栄養学科	4	110	0	470	学士（健康栄養学）	0.74	－	－	平成26	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490番地9	令和７年度から入学定員変更（120→110）、デジタル社会共創学環の収容定員内数【60】			
健康福祉学部	4	120	0	520	－	0.73	－	－	平成13	－				
社会福祉学科	4	70	0	320	学士（社会福祉学）	**0.58**	－	－	昭和49	同上	令和７年度から入学定員変更（80→70）、令和７年度から3年次編入学定員変更（10→0）、デジタル社会共創学環の収容定員内数【60】			
ｽﾎﾟｰﾂ健康福祉学科	4	50	0	200	学士（ｽﾎﾟｰﾂ健康福祉学）	0.97	－	－	平成26	同上				
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学部	4	70	0	310	－	0.85	－	－	平成19	－				
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科	4	70	0	310	－	0.85	－	－	平成19	同上				
理学療法学専攻	4	40	0	160	学士（理学療法学）	1.12	－	－	平成19	同上				
作業療法学専攻	4	30	0	150	学士（作業療法学）	0.57	－	－	平成19	同上	令和７年度から入学定員変更（40→30）			
子ども学部	4	120	0	490	－	1.04	－	－	平成21	－				
子ども学科	4	80	0	330	学士（子ども学）	1.01	－	－	平成21	佐賀県佐賀市神園三丁目18番15号	令和７年度から3年次編入学定員変更（10→0）			
心理ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ学科	4	40	0	160	学士（臨床心理学）	1.11	－	－	平成26	同上				
看護学部	4	90	0	360	－	0.93	－	－	平成30	－				
看護学科	4	90	0	360	学士（看護学）	0.93	－	－	平成30	佐賀県小 城市小城町176番地 27				
デジタル社会共創学環	4	60	－	－	学士（デジタル社会共創学）	－		－	令和6	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490番地9				
大学全体	－	510	0	2,150	－	－	－	－	－	－				

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「収容定員充足率」には、報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和８年度開設用）Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第１条第２項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第２項及び第４項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の**学科**については、**必ず太字にしてください**。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

５　教育研究実施組織の状況

＜デジタル社会共創学環＞

ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授 （学環長）	井本　浩之 ＜令和6年4月＞ 文学修士※	あすなろう（初年次教育含） 現代社会と倫理 人間論と現代思想 テレコミュニケーション倫理 ボランティア活動 PBL特別演習 PBLゼミナールⅠ PBLゼミナールⅡ PBLゼミナールⅢ PBLゼミナールⅣ 卒業研究
専	教授	古賀　浩二 ＜令和6年4月＞ 博士（情報工学）	あすなろう（初年次教育含） データサイエンス入門※ 情報メディア入門※ 情報メディア演習Ⅰ 情報メディア演習Ⅱ PBL特別演習 PBLゼミナールⅠ PBLゼミナールⅡ PBLゼミナールⅢ PBLゼミナールⅣ 卒業研究
専	教授	黒田　研二 ＜令和6年4月＞ 医学博士	あすなろう（初年次教育含） データサイエンス入門※ データサイエンス演習 精神保健学Ⅰ 精神保健学Ⅱ インターンシップ
専	教授	小浦　誠吾 ＜令和6年4月＞ 博士（農学）	あすなろう（初年次教育含） e-sports論※ ﾃﾞｼﾞﾀﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ支援学概論※ ﾃﾞｼﾞﾀﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ支援学特論※ インターンシップ
専	教授	田中　豊治 ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）	あすなろう（初年次教育含） 多文化社会学 変わりゆく国際社会を生きる 社会学と社会システム 社会調査の基礎 PBL特別演習 PBLゼミナールⅠ PBLゼミナールⅡ PBLゼミナールⅢ PBLゼミナールⅣ 卒業研究
専	教授	山田　力也 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）	あすなろう（初年次教育含） レクリエーション支援論※ レクリエーション支援演習※ インターンシップ
専	教授	管原　正志 ＜令和6年4月＞ 医学博士	あすなろう（初年次教育含） 地球環境・SDGs入門※ 教育とコミュニケーション ボランティア活動 PBL特別演習 PBLゼミナールⅠ PBLゼミナールⅡ PBLゼミナールⅢ PBLゼミナールⅣ 卒業研究

【令和６年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授 （学環長）	井本　浩之 ＜令和6年4月＞ 文学修士※	あすなろう（初年次教育含） 現代社会と倫理 人間論と現代思想 テレコミュニケーション倫理 ボランティア活動 PBL特別演習 PBLゼミナールⅠ PBLゼミナールⅡ PBLゼミナールⅢ PBLゼミナールⅣ 卒業研究 **データサイエンスへのとびら※**
専	教授	古賀　浩二 ＜令和6年4月＞ 博士（情報工学）	あすなろう（初年次教育含） データサイエンス入門 情報メディア入門※ 情報メディア演習Ⅰ 情報メディア演習Ⅱ PBL特別演習 PBLゼミナールⅠ PBLゼミナールⅡ PBLゼミナールⅢ PBLゼミナールⅣ 卒業研究 **データサイエンスへのとびら※**
専	教授	黒田　研二 ＜令和6年4月＞ 医学博士	精神保健学Ⅰ 精神保健学Ⅱ インターンシップ **関連融題連携入門※** **社会福祉学へのとびら※**
専	教授	小浦　誠吾 **＜令和6年10月＞** 博士（農学）	e-sports論※ ﾃﾞｼﾞﾀﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ支援学概論※ ﾃﾞｼﾞﾀﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ支援学特論※ インターンシップ
専	教授	田中　豊治 ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）	多文化社会学 変わりゆく国際社会を生きる 社会学と社会システム 社会調査の基礎 PBL特別演習 PBLゼミナールⅠ PBLゼミナールⅡ PBLゼミナールⅢ PBLゼミナールⅣ 卒業研究 **社会福祉学へのとびら※**
専	教授	山田　力也 **＜令和6年10月＞** 修士（体育学）	レクリエーション支援論※ レクリエーション支援演習※ インターンシップ **スポーツ科学へのとびら※**
専	教授	管原　正志 ＜令和6年4月＞ 医学博士	あすなろう（初年次教育含） 地球環境・SDGs入門※ 教育とコミュニケーション ボランティア活動 PBL特別演習 PBLゼミナールⅠ PBLゼミナールⅡ PBLゼミナールⅢ PBLゼミナールⅣ 卒業研究

【令和７年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼（主専）	教授 （学環長）	井本　浩之 ＜令和6年4月＞ 文学修士※	**あすなろう** 現代社会と倫理 人間論と現代思想 テレコミュニケーション倫理 ボランティア活動 PBL特別演習 PBLゼミナールⅠ PBLゼミナールⅡ PBLゼミナールⅢ PBLゼミナールⅣ 卒業研究 **データサイエンスへのとびら※**
兼（主専）	教授	古賀　浩二 ＜令和6年4月＞ 博士（情報工学）	**あすなろう** データサイエンス入門 情報メディア入門※ 情報メディア演習Ⅰ 情報メディア演習Ⅱ PBL特別演習 PBLゼミナールⅠ PBLゼミナールⅡ PBLゼミナールⅢ PBLゼミナールⅣ 卒業研究 **データサイエンスへのとびら※** **情報処理演習**
兼（主専）	教授	黒田　研二 ＜令和6年4月＞ 医学博士	精神保健学Ⅰ 精神保健学Ⅱ インターンシップ **関連融題連携入門※** **社会福祉学へのとびら※**
兼（主専）	教授	小浦　誠吾 **＜令和6年10月＞** 博士（農学）	e-sports論※ ﾃﾞｼﾞﾀﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ支援学概論※ ﾃﾞｼﾞﾀﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ支援学特論※ インターンシップ
兼（主専）	教授	田中　豊治 ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）	多文化社会学 変わりゆく国際社会を生きる 社会学と社会システム 社会調査の基礎 PBL特別演習 PBLゼミナールⅢ PBLゼミナールⅣ 卒業研究 **社会福祉学へのとびら※**
兼（主専）	教授	山田　力也 **＜令和6年10月＞** 修士（体育学）	レクリエーション支援論※ レクリエーション支援演習※ インターンシップ **スポーツ科学へのとびら※**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	橋本　健夫 ＜令和6年4月＞ 理学修士※	あすなろう（初年次教育含） 地球環境・SDGs入門※ ダイバーシティ論 教育とコミュニケーション ボランティア活動 PBL特別演習 PBLゼミナールⅠ PBLゼミナールⅡ PBLゼミナールⅢ PBLゼミナールⅣ 卒業研究
専	教授	三嶋　敏雄 ＜令和6年4月＞ 学術博士	あすなろう（初年次教育含） 食品栄養学 インターンシップ PBLゼミナールⅠ PBLゼミナールⅡ
専	教授	草場　聡宏 ＜令和6年4月＞ 修士（学校教育学）	あすなろう（初年次教育含） 地球環境・SDGs入門※ データサイエンス演習 情報数学入門 社会データ分析 社会データ分析演習 PBLゼミナールⅠ PBLゼミナールⅡ PBLゼミナールⅢ PBLゼミナールⅣ 卒業研究
専	教授	利光　恵 ＜令和6年4月＞ 修士（教育心理学）	あすなろう（初年次教育含） ダイバーシティ論 福祉心理学 仮想空間と心理学※ 心理学と社会課題※ 暮らしに潜む罠 フィールドワークスタディ PBL特別演習 PBLゼミナールⅠ PBLゼミナールⅡ PBLゼミナールⅢ PBLゼミナールⅣ 卒業研究
専	准教授	福元　健志 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	あすなろう（初年次教育含） English Camp 留学準備演習 留学 ボランティア活動 PBL特別演習 PBLゼミナールⅠ PBLゼミナールⅡ PBLゼミナールⅢ PBLゼミナールⅣ 卒業研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	橋本　健夫 ＜令和6年4月＞ 理学修士※	あすなろう（初年次教育含） 地球環境・SDGs入門※ ダイバーシティ論 教育とコミュニケーション ボランティア活動 PBL特別演習 PBLゼミナールⅠ PBLゼミナールⅡ PBLゼミナールⅢ PBLゼミナールⅣ 卒業研究
専	教授	三嶋　敏雄 **＜令和6年10月＞** 学術博士	あすなろう（初年次教育含） 食品栄養学 インターンシップ PBLゼミナールⅠ PBLゼミナールⅡ **栄養学へのとびら※**
専	教授	草場　聡宏 ＜令和6年4月＞ 修士（学校教育学）	あすなろう（初年次教育含） 地球環境・SDGs入門※ データサイエンス演習 情報数学入門 社会データ分析 社会データ分析演習 PBLゼミナールⅠ PBLゼミナールⅡ PBLゼミナールⅢ PBLゼミナールⅣ 卒業研究 **データサイエンス入門** **保育学・教育学へのとびら※**
専	教授	利光　恵 ＜令和6年4月＞ 修士（教育心理学）	あすなろう（初年次教育含） ダイバーシティ論 福祉心理学 仮想空間と心理学※ 心理学と社会課題※ 暮らしに潜む罠 フィールドワークスタディ PBL特別演習 PBLゼミナールⅠ PBLゼミナールⅡ PBLゼミナールⅢ PBLゼミナールⅣ 卒業研究
兼任	**講師**	**只木　進一** **＜令和6年10月＞** **理学博士**	**データサイエンス演習**
専	准教授	福元　健志 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	あすなろう（初年次教育含） English Camp 留学準備演習 留学 ボランティア活動 PBL特別演習 PBLゼミナールⅠ PBLゼミナールⅡ PBLゼミナールⅢ PBLゼミナールⅣ 卒業研究 **データサイエンスへのとびら※**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼（主専）	教授	橋本　健夫 ＜令和6年4月＞ 理学修士※	**あすなろう** 地球環境・SDGs入門※ ダイバーシティ論 教育とコミュニケーション ボランティア活動 PBL特別演習 PBLゼミナールⅢ PBLゼミナールⅣ 卒業研究
兼（主専）	教授	三嶋　敏雄 **＜令和6年10月＞** 学術博士	食品栄養学 インターンシップ **栄養学へのとびら※**
兼（主専）	教授	草場　聡宏 ＜令和6年4月＞ 修士（学校教育学）	 PBLゼミナールⅢ PBLゼミナールⅣ 卒業研究
兼（主専）	教授	利光　恵 ＜令和6年4月＞ 修士（教育心理学）	**あすなろう** ダイバーシティ論 福祉心理学 仮想空間と心理学※ 心理学と社会課題※ 暮らしに潜む罠 フィールドワークスタディ PBL特別演習 PBLゼミナールⅠ PBLゼミナールⅡ PBLゼミナールⅢ PBLゼミナールⅣ 卒業研究 **心理学入門** **臨床心理学概論**
兼（主専）	**教授**	**只木　進一** **＜令和6年10月＞** **理学博士**	**あすなろう** **データサイエンス入門** **データサイエンス演習** **情報処理演習** **社会データ分析** **社会データ分析演習** **データサイエンスへのとびら※**
兼（主専）	**教授**	**山下　義行** **＜令和7年4月＞** **博士（工学）**	**あすなろう** **データサイエンス入門** **データサイエンス演習** **情報処理演習** **社会データ分析** **社会データ分析演習** **データサイエンスへのとびら※**
兼（主専）	准教授	福元　健志 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	**あすなろう** English Camp 留学準備演習 留学 ボランティア活動 PBL特別演習 PBLゼミナールⅠ PBLゼミナールⅡ PBLゼミナールⅢ PBLゼミナールⅣ 卒業研究 **データサイエンスへのとびら※** **日本語Ⅲ** **日本語検定Ⅲ** **異文化理解**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	植田　友貴 ＜令和6年4月＞ 博士（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	e-sports論※ e-sports演習 ﾃﾞｼﾞﾀﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ支援学概論※ ﾃﾞｼﾞﾀﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ支援学演習 ﾃﾞｼﾞﾀﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ支援学特論※ PBL特別演習 PBLゼミナールⅠ PBLゼミナールⅡ PBLゼミナールⅢ PBLゼミナールⅣ
専	准教授	園部　ニコル ＜令和6年4月＞ Master of Applied Linguistics （豪州）	あすなろう（初年次教育含） SDGs英語 World Issues（世界事情）※ 語学研修 グローバルスタディーズ※ グローバルリーダーシップ English Camp 留学準備演習 留学 PBLゼミナールⅠ PBLゼミナールⅡ PBLゼミナールⅢ PBLゼミナールⅣ 卒業研究
専	講師	大塚　和良 ＜令和6年4月＞ 修士（医科学）	あすなろう（初年次教育含） データサイエンス演習 リモート学習支援技術 PBL特別演習
専	講師	葛原　誠太 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）	あすなろう（初年次教育含） 関連職種連携入門※ PBL特別演習
専	講師	今井　里佳 ＜令和6年4月＞ 博士（食物栄養学）	あすなろう（初年次教育含） PBL特別演習
兼担	教授	安部　恵代 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）	データサイエンス入門※
兼担	教授	安藤（北村）　満代 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	関連職種連携入門※ 臨床心理学概論
兼担	教授	安徳　弥生 ＜令和7年10月＞ 修士（健康福祉学）	科学的介護論※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	植田　友貴 ＜令和6年4月＞ 博士（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	e-sports論※ e-sports演習 ﾃﾞｼﾞﾀﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ支援学概論※ ﾃﾞｼﾞﾀﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ支援学演習 ﾃﾞｼﾞﾀﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ支援学特論※ PBL特別演習 PBLゼミナールⅠ PBLゼミナールⅡ PBLゼミナールⅢ PBLゼミナールⅣ **データサイエンス入門**
専	准教授	園部　ニコル ＜令和6年4月＞ Master of Applied Linguistics （豪州）	あすなろう（初年次教育含） SDGs英語 World Issues（世界事情）※ 語学研修 グローバルスタディーズ※ グローバルリーダーシップ English Camp 留学準備演習 留学 PBLゼミナールⅠ PBLゼミナールⅡ PBLゼミナールⅢ PBLゼミナールⅣ 卒業研究 **英語コミュニケーションⅠ** **英語コミュニケーションⅡ**
専	**准教授**	**木村　延明** **＜令和6年10月＞**	**あすなろう** **データサイエンス演習** **データサイエンスへのとびら※**
専	講師	大塚　和良 ＜令和6年4月＞ **博士（医科学）**	リモート学習支援技術 PBL特別演習 **データサイエンス入門**
専	講師	葛原　誠太 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）	関連職種連携入門※ PBL特別演習 **データサイエンス入門**
専	講師	今井　里佳 **＜令和8年4月＞** 博士（食物栄養学）	PBL特別演習
専	**助教**	**小形　幸平** **＜令和6年4月＞** **修士（学術）**	**あすなろう（初年次教育含）** **データサイエンス入門** **データサイエンス演習** **データサイエンスへのとびら※**
兼担	教授	安部　恵代 **＜令和6年10月＞** 博士（医学）	**栄養学へのとびら※**
兼担	教授	安藤（北村）　満代 **＜令和6年10月＞** 博士（文学）	臨床心理学概論 **心理学へのとびら※**
兼担	教授	安徳　弥生 **＜令和6年10月＞** 修士（健康福祉学）	科学的介護論※ **社会福祉学へのとびら※**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼（主専）	准教授	植田　友貴 ＜令和6年4月＞ 博士（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	e-sports論※ e-sports演習 ﾃﾞｼﾞﾀﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ支援学概論※ ﾃﾞｼﾞﾀﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ支援学演習 ﾃﾞｼﾞﾀﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ支援学特論※ PBL特別演習 PBLゼミナールⅠ PBLゼミナールⅡ PBLゼミナールⅢ PBLゼミナールⅣ
兼（主専）	准教授	園部　ニコル ＜令和6年4月＞ Master of Applied Linguistics （豪州）	**あすなろう** SDGs英語 World Issues（世界事情）※ 語学研修 グローバルスタディーズ※ グローバルリーダーシップ English Camp 留学準備演習 留学 PBLゼミナールⅠ PBLゼミナールⅡ PBLゼミナールⅢ PBLゼミナールⅣ 卒業研究 **英語コミュニケーションⅠ** **英語コミュニケーションⅡ**
兼（主専）	**准教授**	**木村　延明** **＜令和6年10月＞**	**あすなろう** **データサイエンス演習** **データサイエンス入門** **情報処理演習** **情報数学入門**
兼（主専）	講師	大塚　和良 ＜令和6年4月＞ **博士（医科学）**	リモート学習支援技術 PBL特別演習
兼（主専）	**准教授**	葛原　誠太 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）	関連職種連携入門※ PBL特別演習
兼（主専）	講師	今井　里佳 **＜令和8年4月＞** 博士（食物栄養学）	PBL特別演習
兼（主専）	**講師**	**新井　友梨** **＜令和7年4月＞** **博士（経営学）**	**あすなろう** **教育とコミュニケーション** **テレコミュニケーション倫理** **PBLゼミナールⅠ** **PBLゼミナールⅡ** **データサイエンスへのとびら※**
兼（主専）	**助教**	**小形　幸平** **＜令和6年4月＞** **修士（学術）**	**あすなろう** **データサイエンス入門** **データサイエンス演習** **データサイエンスへのとびら※**
その他	教授	安部　恵代 **＜令和6年10月＞** 博士（医学）	**栄養学へのとびら※**
その他	教授	安藤（北村）　満代 **＜令和6年10月＞** 博士（文学）	**心理学へのとびら※**
その他	教授	安徳　弥生 **＜令和6年10月＞** 修士（健康福祉学）	科学的介護論※ **社会福祉学へのとびら※**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	上野　景三 ＜令和6年4月＞ 教育学修士※ 生涯学習論	兼担	教授	上野　景三 ＜令和6年4月＞ 教育学修士※ 生涯学習論 あすなろう(初年次教育含)	その他	教授	上野　景三 ＜令和6年4月＞ 教育学修士※ 生涯学習論 あすなろう
兼担	教授	大田尾　浩 ＜令和6年4月＞ 博士(保健学) 関連職種連携入門※	兼担	教授	大田尾　浩 ＜令和6年4月＞ 博士(保健学) 関連職種連携入門※ リハビリテーション学へのとびら※	その他	教授	大田尾　浩 ＜令和6年4月＞ 博士(保健学) 関連職種連携入門※ リハビリテーション学へのとびら※
兼担	教授	加登田　恵子 ＜令和7年4月＞ 社会学修士※ 児童・家庭福祉論						
兼担	教授	草野　洋介 ＜令和6年4月＞ 博士(医学) 関連職種連携入門※						
兼担	教授	坂田　周一 ＜令和6年4月＞ 博士(社会福祉学) 社会福祉原論Ⅰ 社会福祉原論Ⅱ	兼担	教授	坂田　周一 ＜令和6年4月＞ 博士(社会福祉学) 社会福祉原論Ⅰ 社会福祉原論Ⅱ	その他	教授	坂田　周一 ＜令和6年4月＞ 博士(社会福祉学) 社会福祉原論Ⅰ 社会福祉原論Ⅱ
兼担	教授	宮原　洋八 ＜令和6年4月＞ 博士(体育学) データサイエンス入門※						
兼担	教授	安田　みどり ＜令和6年4月＞ 博士(理学) 身近な生活の化学 地域の食産業※	兼担	教授	安田　みどり ＜令和6年4月＞ 博士(理学) 身近な生活の化学 地域の食産業※ あすなろう(初年次教育含) 栄養学へのとびら※	その他	教授	安田　みどり ＜令和6年4月＞ 博士(理学) 身近な生活の化学 地域の食産業※ あすなろう 栄養学へのとびら※
兼担	教授	柳田　晃良 ＜令和6年4月＞ 農学博士 World Issues(世界事情)※						
兼担	教授	横尾　美智代 ＜令和6年4月＞ 博士(医学) データサイエンス入門※	兼担	教授	横尾　美智代 ＜令和6年10月＞ 博士(医学) 栄養学へのとびら※	その他	教授	横尾　美智代 ＜令和6年10月＞ 博士(医学) 栄養学へのとびら※
			兼担	教授	大川　祐行 ＜令和6年10月＞ 博士（医学） リハビリテーション学へのとびら※	その他	教授	大川　祐行 ＜令和6年10月＞ 博士（医学） リハビリテーション学へのとびら※
			兼担	教授	岡嶋　一郎 ＜令和6年10月＞ 修士（教育心理学）※ 心理学へのとびら※	その他	教授	岡嶋　一郎 ＜令和6年10月＞ 修士（教育心理学）※ 心理学へのとびら※
			兼担	教授	木室　ゆかり ＜令和6年4月＞ 博士（スポーツ健康科学） あすなろう(初年次教育含)			
			兼担	教授	久野　一恵 ＜令和6年10月＞ 医学博士 栄養学へのとびら※	その他	教授	久野　一恵 ＜令和6年10月＞ 医学博士 栄養学へのとびら※
			兼担	教授	久保　温子 ＜令和6年10月＞ 博士（医学） リハビリテーション学へのとびら※	その他	教授	久保　温子 ＜令和6年10月＞ 博士（医学） リハビリテーション学へのとびら※
			兼担	教授	栗原　淳 ＜令和6年10月＞ 体育学修士 スポーツ科学へのとびら※	その他	教授	栗原　淳 ＜令和6年10月＞ 体育学修士 スポーツ科学へのとびら※ 地球環境・SDGs入門※
			兼担	教授	小林　幸恵 ＜令和6年10月＞ 博士（生活支援学） 看護学へのとびら※	その他	教授	小林　幸恵 ＜令和6年10月＞ 博士（生活支援学） 看護学へのとびら※
			兼担	教授	近藤　芳昭 ＜令和6年4月＞ 体育学士 フィットネス・スポーツ ウェルネス・スポーツ スポーツ科学へのとびら※	その他	教授	近藤　芳昭 ＜令和6年4月＞ 体育学士 ウェルネス・スポーツ スポーツ科学へのとびら※ あすなろう
			兼担	教授	高尾　兼利 ＜令和6年10月＞ 文学修士 保育学・教育学へのとびら※	その他	教授	高尾　兼利 ＜令和6年10月＞ 文学修士 保育学・教育学へのとびら※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	加藤　稔子 ＜令和6年4月＞ 修士（健康福祉学）
		関連職種連携入門※ 科学的介護論※
兼担	准教授	木場　千春 ＜令和7年4月＞ 博士（ｱﾄﾞﾐﾆｽﾄﾚｰｼｮﾝ）
		社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ
兼担	准教授	小松　洋平 ＜令和6年4月＞ 博士（臨床心理学）
		地球環境・SDGs入門※ データサイエンス入門※
兼担	准教授	斎木　まど香 ＜令和6年4月＞ 博士（ｼｽﾃﾑ生命科学）
		地球環境・SDGs入門※
兼担	准教授	櫻井　京子 ＜令和6年4月＞ 修士（児童学）
		関連職種連携入門※
兼担	准教授	南里　玲子 ＜令和6年4月＞ 専門学校卒
		地球環境・SDGs入門※
兼担	准教授	久野　隆裕 ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		関連職種連携入門※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	中山　亜紀 ＜令和6年10月＞ 法学修士※	日本国憲法
兼任	講師	荒木　雪葉 ＜令和6年4月＞ 博士(国際文化)	グローバル化と異文化共生
兼任	講師	永吉　守 ＜令和6年4月＞ 博士(国際文化)	文化人類学 フィールドワーク論 多文化共生論
兼任	講師	権藤　幸憲 ＜令和6年4月＞ 経済学修士	くらしと経済
兼任	講師	藤田　由美子 ＜令和6年10月＞ 博士(教育学)	ジェンダー論
兼任	講師	辻田　忠志 ＜令和6年4月＞ 博士(バイオサイエンス)	生命のしくみ
兼任	講師	北垣　浩志 ＜令和6年10月＞ 博士(農学)	生物と環境
兼任	講師	上山　和俊 ＜令和6年4月＞ 経済学修士※	統計学の基礎
兼任	講師	福井　市男 ＜令和6年4月＞ 学士	身近な世界の物理学
兼任	講師	元安　陽一 ＜令和6年10月＞ 修士(人間科学)※	健康スポーツ科学 フィットネス・スポーツ ウェルネス・スポーツ
兼任	講師	Eric Raschke ＜令和6年4月＞ Bachelor of Arts(ｱﾒﾘｶ)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ World Issues(世界事情)※ グローバルスタディーズ※
兼任	講師	Gareth Newbold ＜令和6年4月＞ BA(Hons) Primary Education (ｲｷﾞﾘｽ)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ World Issues(世界事情)※ グローバルスタディーズ※
兼任	講師	Brown Patricia Sharon ＜令和6年4月＞ Bachelor of Arts(ｱﾒﾘｶ)	World Issues(世界事情)※ グローバルスタディーズ※
兼任	講師	Derbel Mohamed Rami ＜令和6年4月＞ 博士(工学)	World Issues(世界事情)※ グローバルスタディーズ※
兼任	講師	徳永　ヴェラ ＜令和6年4月＞ Bachelor of Arts(ｽﾛﾍﾞﾆｱ)	World Issues(世界事情)※ 日本文化理解
兼任	講師	周　嵐 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)	中国語 日本語初級 日本語中級 日本語上級

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	荒木　雪葉 ＜令和6年4月＞ 博士(国際文化)	グローバル化と異文化共生
兼任	講師	永吉　守 ＜令和6年4月＞ 博士(国際文化)	文化人類学 フィールドワーク論 多文化共生論
兼任	講師	権藤　幸憲 ＜令和6年4月＞ 経済学修士	くらしと経済
兼任	講師	藤田　由美子 ＜令和6年10月＞ 博士(教育学)	ジェンダー論
兼任	講師	辻田　忠志 ＜令和6年4月＞ 博士(バイオサイエンス)	生命のしくみ
兼任	講師	北垣　浩志 ＜令和6年10月＞ 博士(農学)	生物と環境
兼任	講師	上山　和俊 ＜令和6年4月＞ 経済学修士※	統計学の基礎
兼任	講師	福井　市男 ＜令和6年4月＞ 学士	身近な世界の物理学
兼任	講師	Eric Raschke ＜令和6年4月＞ Bachelor of Arts(ｱﾒﾘｶ)	英語コミュニケーションⅡ グローバルスタディーズ※
兼任	講師	Gareth Newbold ＜令和6年4月＞ BA(Hons) Primary Education (ｲｷﾞﾘｽ)	英語コミュニケーションⅡ グローバルスタディーズ※
兼任	講師	Brown Patricia Sharon ＜令和6年4月＞ Bachelor of Arts(ｱﾒﾘｶ)	World Issues(世界事情)※ グローバルスタディーズ※ **英語コミュニケーションⅠ** **英語コミュニケーションⅡ**
兼任	講師	Derbel Mohamed Rami ＜令和6年4月＞ 博士(工学)	World Issues(世界事情)※ グローバルスタディーズ※
兼任	講師	徳永　ヴェラ ＜令和6年4月＞ Bachelor of Arts(ｽﾛﾍﾞﾆｱ)	World Issues(世界事情)※ 日本文化理解
兼任	講師	周　嵐 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)	中国語 日本語初級 日本語中級 日本語上級

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
その他	講師	永吉　守 ＜令和6年4月＞ 博士(国際文化)	文化人類学 フィールドワーク論 多文化共生論
その他	講師	権藤　幸憲 ＜令和6年4月＞ 経済学修士	くらしと経済
その他	講師	藤田　由美子 ＜令和6年10月＞ 博士(教育学)	ジェンダー論
その他	講師	辻田　忠志 ＜令和6年4月＞ 博士(バイオサイエンス)	生命のしくみ
その他	講師	北垣　浩志 ＜令和6年10月＞ 博士(農学)	生物と環境
その他	講師	上山　和俊 ＜令和6年4月＞ 経済学修士※	統計学の基礎
その他	講師	福井　市男 ＜令和6年4月＞ 学士	身近な世界の物理学
その他	講師	Gareth Newbold ＜令和6年4月＞ BA(Hons) Primary Education (ｲｷﾞﾘｽ)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ World Issues(世界事情)※ グローバルスタディーズ※
その他	講師	Brown Patricia Sharon ＜令和6年4月＞ Bachelor of Arts(ｱﾒﾘｶ)	World Issues(世界事情)※ グローバルスタディーズ※ **英語コミュニケーションⅠ** **英語コミュニケーションⅡ**
その他	講師	Derbel Mohamed Rami ＜令和6年4月＞ 博士(工学)	World Issues(世界事情)※ グローバルスタディーズ※
その他	講師	徳永　ヴェラ ＜令和6年4月＞ Bachelor of Arts(ｽﾛﾍﾞﾆｱ)	World Issues(世界事情)※
その他	講師	周　嵐 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)	中国語 **日本語Ⅰ** **日本語検定Ⅰ**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	藤　知映 ＜令和6年10月＞ 家政学修士（韓国）	韓国語
兼任	講師	新井　康平 ＜令和6年4月＞ 工学博士	データサイエンス入門※ メタバース論 メタバース演習 データアナリティクス概論
兼任	講師	木村　隆夫 ＜令和6年4月＞ 薬学士	データサイエンス入門※
兼任	講師	立川　洋輝 ＜令和6年4月＞ 医学修士	データサイエンス入門※
兼任	講師	横山　正博 ＜令和8年4月＞ 博士（保健学）	高齢者福祉論
兼任	講師	張　韓模 ＜令和7年10月＞ 博士（経済学）	アジアの社会と文化
兼任	講師	井上　英也 ＜令和8年10月＞ 学士（法学）	観光学入門
兼任	講師	古瀬　英隆 ＜令和6年10月＞ 法学士	観光ビジネス論
兼任	講師	北川　健太 ＜令和7年10月＞ 学士（社会学）	ホテルビジネス論
兼任	講師	久光　俊一 ＜令和7年4月＞ 経済学士	旅行業務
兼任	講師	森尾　真之 ＜令和8年10月＞ 学士（産業社会学）	マーケット論
兼任	講師	谷口　仁史 ＜令和7年10月＞ 学士（教育学）	NPO・NGO論
兼任	講師	三上　聡美 ＜令和7年4月＞ 修士（心理学）	社会・集団心理学 産業・組織心理学
兼任	講師	遠藤　利彦 ＜令和9年4月＞ 博士（心理学）	仮想空間と心理学※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	藤　知映 ＜令和6年10月＞ 家政学修士（韓国）	韓国語
兼任	講師	新井　康平 ＜令和6年4月＞ 工学博士	メタバース論 メタバース演習 データアナリティクス概論
兼任	講師		
兼任	講師		
兼任	講師	横山　正博 ＜令和8年4月＞ 博士（保健学）	高齢者福祉論
兼任	講師	張　韓模 **＜令和6年4月＞** 博士（経済学）	アジアの社会と文化 **多文化社会学**
兼任	講師	井上　英也 ＜令和8年10月＞ 学士（法学）	観光学入門
兼任	講師	古瀬　英隆 ＜令和6年10月＞ 法学士	観光ビジネス論
兼任	講師	北川　健太 ＜令和7年10月＞ 学士（社会学）	ホテルビジネス論
兼任	講師	久光　俊一 ＜令和7年4月＞ 経済学士	旅行業務
兼任	講師	森尾　真之 ＜令和8年10月＞ 学士（産業社会学）	マーケット論
兼任	講師	谷口　仁史 ＜令和7年10月＞ 学士（教育学）	NPO・NGO論
兼任	講師	三上　聡美 ＜令和7年4月＞ 修士（心理学）	社会・集団心理学 産業・組織心理学
兼任	講師	遠藤　利彦 ＜令和9年4月＞ 博士（心理学）	仮想空間と心理学※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
その他	講師	藤　知映 ＜令和6年10月＞ 家政学修士（韓国）	韓国語
その他	講師	新井　康平 ＜令和6年4月＞ 工学博士	メタバース論 メタバース演習 データアナリティクス概論
その他	講師	横山　正博 ＜令和8年4月＞ 博士（保健学）	高齢者福祉論
その他	講師	張　韓模 **＜令和6年4月＞** 博士（経済学）	アジアの社会と文化 **多文化社会学**
その他	講師	井上　英也 ＜令和8年10月＞ 学士（法学）	観光学入門
その他	講師	古瀬　英隆 ＜令和6年10月＞ 法学士	観光ビジネス論
その他	講師	北川　健太 ＜令和7年10月＞ 学士（社会学）	ホテルビジネス論
その他	講師	久光　俊一 ＜令和7年4月＞ 経済学士	旅行業務
その他	講師	森尾　真之 ＜令和8年10月＞ 学士（産業社会学）	マーケット論
その他	講師	三上　聡美 ＜令和7年4月＞ 修士（心理学）	社会・集団心理学 産業・組織心理学
その他	講師	遠藤　利彦 ＜令和9年4月＞ 博士（心理学）	仮想空間と心理学※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	保井　俊之 ＜令和7年10月＞ 博士(学術)	心理学と社会課題※
兼任	講師	中島　俊思 ＜令和8年4月＞ 博士(心理学)	乳幼児心理学
兼任	講師	宮本　知加子 ＜令和8年4月＞ 博士(心理学)	心理データ解析法
兼任	講師	綱　智子 ＜令和6年4月＞ 文学修士	TOEIC Ⅰ TOEIC Ⅱ
兼任	講師	圃迫　りつ ＜令和7年4月＞ Master of Education(ｱﾒﾘｶ)	Academic English Ⅰ Academic English Ⅱ
兼任	講師	Mahmud Muhammad Al ＜令和8年4月＞ 博士(経済学)	グローバルスタディーズ※ グローバル経済とビジネス
兼任	講師	全　炳徳 ＜令和7年4月＞ 博士(工学)	情報ネットワーク論 情報ネットワーク演習
兼任	講師	山城 佑太 ＜令和6年10月＞ 修士(工学)	ソーシャルメディア論 AIとビッグデータ論 デジタルユニバーサルデザイン論 コンピュータのための物理学
兼任	講師	阿南　啓太 ＜令和7年10月＞ 専門士(作業療法士)	映像制作の基本 映像制作演習 グラフィックデザイン演習
兼任	講師	石松　隆和 ＜令和8年4月＞ 工学博士	プログラム基礎論 アルゴリズムとデータ構造
兼任	講師	山口　郁準 ＜令和8年10月＞ 修士(工学)	ウェブコンテンツ演習
兼任	講師	鈴木　慶子 ＜令和6年10月＞ 修士(教育学)	文字と言葉
兼任	講師	堀内　伊吹 ＜令和6年4月＞ 芸術学士(音楽)	音楽とコミュニケーション
兼任	講師	矢野　香 ＜令和7年4月＞ 博士(総合社会文化)	プレゼンテーション論
兼任	講師	山地　弘起 ＜令和7年10月＞ Ph.D(身体心理学)(ｱﾒﾘｶ)	身体コミュニケーション
兼任	講師	森　恵美 ＜令和7年4月＞ 短期大学卒	レクリエーション支援論※ レクリエーション支援演習※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	保井　俊之 ＜令和7年10月＞ 博士(学術)	心理学と社会課題※
兼任	講師	中島　俊思 ＜令和8年4月＞ 博士(心理学)	乳幼児心理学
兼任	講師	宮本　知加子 ＜令和8年4月＞ 博士(心理学)	心理データ解析法
兼任	講師	Mahmud Muhammad Al **＜令和6年4月＞** 博士(経済学)	グローバルスタディーズ※ グローバル経済とビジネス **World Issues(世界事情)※** **英語コミュニケーションⅠ** **英語コミュニケーションⅡ**
兼任	講師	全　炳徳 ＜令和7年4月＞ 博士(工学)	情報ネットワーク論 情報ネットワーク演習
兼任	講師	山城 佑太 ＜令和6年10月＞ 修士(工学)	ソーシャルメディア論 AIとビッグデータ論 デジタルユニバーサルデザイン論 コンピュータのための物理学
兼任	講師	阿南　啓太 ＜令和7年10月＞ 専門士(作業療法士)	映像制作の基本 映像制作演習 グラフィックデザイン演習
兼任	講師	石松　隆和 ＜令和8年4月＞ 工学博士	プログラム基礎論 アルゴリズムとデータ構造
兼任	講師	山口　郁準 ＜令和8年10月＞ 修士(工学)	ウェブコンテンツ演習
兼任	講師	鈴木　慶子 ＜令和6年10月＞ 修士(教育学)	文字と言葉
兼任	講師	堀内　伊吹 ＜令和6年4月＞ 芸術学士(音楽)	音楽とコミュニケーション
兼任	講師	矢野　香 ＜令和7年4月＞ 博士(総合社会文化)	プレゼンテーション論
兼任	講師	山地　弘起 ＜令和7年10月＞ Ph.D(身体心理学)(ｱﾒﾘｶ)	身体コミュニケーション
兼任	講師	森　恵美 ＜令和7年4月＞ 短期大学卒	レクリエーション支援論※ レクリエーション支援演習※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
その他	講師	保井　俊之 ＜令和7年10月＞ 博士(学術)	心理学と社会課題※
その他	講師	中島　俊思 ＜令和8年4月＞ 博士(心理学)	乳幼児心理学
その他	講師	宮本　知加子 ＜令和8年4月＞ 博士(心理学)	心理データ解析法
その他	講師	Mahmud Muhammad Al **＜令和6年4月＞** 博士(経済学)	グローバルスタディーズ※ グローバル経済とビジネス **World Issues(世界事情)※** **英語コミュニケーションⅠ** **英語コミュニケーションⅡ**
その他	講師	全　炳徳 **＜令和7年10月＞** 博士(工学)	情報ネットワーク演習
その他	講師	山城 佑太 ＜令和6年10月＞ 修士(工学)	ソーシャルメディア論 AIとビッグデータ論 デジタルユニバーサルデザイン論 コンピュータのための物理学
その他	講師	阿南　啓太 ＜令和7年10月＞ 専門士(作業療法士)	映像制作の基本 映像制作演習 グラフィックデザイン演習
その他	講師	石松　隆和 ＜令和8年4月＞ 工学博士	プログラム基礎論 アルゴリズムとデータ構造
その他	講師	山口　郁準 **＜令和7年4月＞** 修士(工学)	ウェブコンテンツ演習 **デジタル・コミュニケーション支援学演習※**
その他	講師	鈴木　慶子 ＜令和6年10月＞ 修士(教育学)	文字と言葉
その他	講師	堀内　伊吹 ＜令和6年4月＞ 芸術学士(音楽)	音楽とコミュニケーション
その他	講師	矢野　香 ＜令和7年4月＞ 博士(総合社会文化)	プレゼンテーション論
その他	講師	山地　弘起 ＜令和7年10月＞ Ph.D(身体心理学)(ｱﾒﾘｶ)	身体コミュニケーション
その他	講師	森　恵美 ＜令和7年4月＞ 短期大学卒	レクリエーション支援論※ レクリエーション支援演習※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	吉住　磨子 ＜令和7年10月＞ Ph.D(Art History)(ｽｺｯﾄﾗﾝﾄﾞ)	地域デザイン論
兼任	講師	西山　慧 ＜令和7年4月＞ 学士(健康栄養学)	地域の食産業※
兼任	講師	有岡　大介 ＜令和7年4月＞ 学士(社会学)	地域の食産業※
兼任	講師	横尾　敏史 ＜令和7年4月＞ 法学士	地域の食産業※
兼任	講師	岡田　英明 ＜令和7年4月＞ 学士(経済学)	地域の食産業※
兼任	講師	木原　寛幸 ＜令和7年4月＞ 高等学校卒	地域の食産業※
兼任	講師	桂城 博行 ＜令和7年4月＞ 経済学士	地域の食産業※
兼任	講師	上向　光予子 ＜令和7年4月＞ Bachelor of Arts(ｲｷﾞﾘｽ)	地域の食産業※
兼担	講師	村岡　淑恵 ＜令和6年4月＞ 博士(人間環境学)	高齢者心理学 発達心理学Ⅰ 発達心理学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	吉住　磨子 ＜令和7年10月＞ Ph.D(Art History)(ｽｺｯﾄﾗﾝﾄﾞ)	地域デザイン論
兼任	講師		
兼任	講師	有岡　大介 ＜令和7年4月＞ 学士(社会学)	地域の食産業※
兼任	講師	横尾　敏史 ＜令和7年4月＞ 法学士	地域の食産業※
兼任	講師	岡田　英明 ＜令和7年4月＞ 学士(経済学)	地域の食産業※
兼任	講師		
兼任	講師	桂城 博行 ＜令和7年4月＞ 経済学士	地域の食産業※
兼任	講師	上向　光予子 ＜令和7年4月＞ Bachelor of Arts(ｲｷﾞﾘｽ)	地域の食産業※
兼任	講師	村岡　淑恵 ＜令和6年10月＞ 博士(人間環境学)	高齢者心理学 発達心理学Ⅱ
兼任	講師	濵本　伸司 ＜令和6年4月＞ 学士（総合管理学）	あすなろう(初年次教育含)
兼任	講師	小笠原　晟一 ＜令和6年4月＞ 学士（経営学）	あすなろう(初年次教育含)
兼任	講師	清上　泰興 ＜令和6年4月＞ 学士（薬学）	あすなろう(初年次教育含)
兼任	講師	児玉　弘 ＜令和6年4月＞ 修士（法学）	法学
兼任	講師	池田　宏子 ＜令和6年10月＞ 法学修士	日本国憲法
兼任	講師	Trinh Thi Ngoc Lan ＜令和6年10月＞ 博士（生活支援学）	変わりゆく国際社会を生きる
兼任	講師	池田　知子 ＜令和6年10月＞ 修士(健康福祉学)	健康スポーツ科学
兼任	講師	平野　貴章 ＜令和6年4月＞ 修士(生活支援学)	健康スポーツ科学 フィットネス・スポーツ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
その他	講師	吉住　磨子 ＜令和7年10月＞ Ph.D(Art History)(ｽｺｯﾄﾗﾝﾄﾞ)	地域デザイン論※
その他	講師	有岡　大介 ＜令和7年4月＞ 学士(社会学)	地域の食産業※
その他	講師	横尾　敏史 ＜令和7年4月＞ 法学士	地域の食産業※
その他	講師	岡田　英明 ＜令和7年4月＞ 学士(経済学)	地域の食産業※
その他	講師	桂城 博行 ＜令和7年4月＞ 経済学士	地域の食産業※
その他	講師	上向　光予子 ＜令和7年4月＞ Bachelor of Arts(ｲｷﾞﾘｽ)	地域の食産業※
その他	講師	村岡　淑恵 ＜令和6年10月＞ 博士(人間環境学)	高齢者心理学 発達心理学Ⅱ
その他	講師	濵本　伸司 ＜令和6年4月＞ 学士（総合管理学）	あすなろう
その他	講師	小笠原　晟一 ＜令和6年4月＞ 学士（経営学）	あすなろう
その他	講師	清上　泰興 ＜令和6年4月＞ 学士（薬学）	あすなろう
その他	講師	児玉　弘 ＜令和6年4月＞ 修士（法学）	法学
その他	講師	池田　宏子 ＜令和6年10月＞ 法学修士	日本国憲法
その他	講師	Trinh Thi Ngoc Lan ＜令和6年10月＞ 博士（生活支援学）	変わりゆく国際社会を生きる グローバル化と異文化共生 日本語Ⅱ 日本語検定Ⅱ
その他	講師	平野　貴章 ＜令和6年4月＞ 修士(生活支援学)	健康スポーツ科学 フィットネス・スポーツ ウェルネス・スポーツ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【令和６年度】

・令和６年度就任
小形　幸平　助教、佐々木　隆夫　准教授、末次　絵里子　准教授、鈴木　雅子　准教授、松藤　泰代　准教授、土井　幸治　講師
木村　延明　准教授、山中　亮　教授
・職名変更
小松　洋平　准教授→教授、南里　真美　助教→講師、村岡　淑恵　兼担講師→兼任講師

・学位名の変更
大塚　和良　講師

・教育充実のため、担当者として追加（新規開講含む）
小形　幸平　助教、上野　景三　教授、安田　みどり　教授、木室　ゆかり　教授、福元　裕二　教授、赤川　力　准教授、飯盛(小倉)　啓生　准教授、占部　尊士　准教授、中島　慎一　准教授、中村　雅俊　准教授、藤原　和彦　准教授、大川内　鉄二　講師、濱本　伸司　兼任講師、小笠原　晟一　兼任講師、溝上　泰興　兼任講師、木村　延明　准教授　：　あすなろう(初年次教育含)
井本　浩之　教授、古賀　浩二　教授、管原　正志　教授、橋本　健夫　教授、草場　聡宏　教授、利光　恵　教授、福元　健志　教授、植田　友貴　准教授、園部　ニコル　准教授、葛原　誠太　講師、小形　幸平　助教、高元　宗一郎　兼任講師　：　データサイエンスへのとびら
黒田　研二　教授、田中　豊治　教授、安徳　弥生　教授、占部　尊士　准教授、江口　賀子　准教授、岡部　由紀夫　准教授、加藤　稔子　准教授、佐々木　隆夫　准教授、土井　幸治　講師　：　社会福祉学へのとびら
安藤(北村)　満代　教授、岡嶋　一郎　教授、西村　喜文　教授、赤川　力　准教授、末次　絵里子　准教授、中園　照美　准教授、松本　麻希　助教、山中　亮　教授　：　心理学へのとびら
三嶋　敏雄　教授、安部　恵代　教授、安田　みどり　教授、横尾　美智代　教授、久野　一恵　教授、福山　隆志　教授、堀田　徳子　教授、四元　博晃　教授、斎木　まど香　准教授、松藤　泰代　准教授、船元　智子　講師、三隅　幸子　講師　：　栄養学へのとびら
山田　力也　教授、管原　正志　教授、栗原　淳　教授、近藤　芳昭　教授、市川　浩　准教授、中島　慎一　准教授、山口　裕嗣　講師、甲木　秀典　講師　：　スポーツ科学へのとびら
大田尾　浩　教授、大川　裕行　教授、久保　温子　教授、原口　健三　教授、押川　武志　准教授、小松　洋平　教授、岸川　由紀　准教授、中村　雅俊　准教授、中村　雅俊　准教授、藤原　和彦　准教授、松谷　信也　准教授、松尾　萌美　講師　：　リハビリテーション学へのとびら
草場　聡宏　教授、髙尾　兼利　教授、田中　麻里　教授、日野　久美子　教授、櫻井　京子　准教授、久野　隆裕　准教授、新井　馨　准教授、宮崎　耕一　准教授、横田　聡　准教授、宇賀神　一　講師　：　保育学・教育学へのとびら
小林　幸恵　教授、滝　麻衣　教授、中島　洋子　教授、池田　佐知子　准教授、應戸　麻美　准教授、川島　睦子　准教授、鈴木　雅子　准教授、西尾　美登里　准教授、平原　直子　准教授、藤田　史恵　准教授、大坪　奈保　講師、渡辺　直子　講師　：　看護学へのとびら

園部　ニコル　准教授、Brown Patricia Sharon　兼任講師、Mahmud Muhammad Al 兼任講師、Steven Sager　兼任講師、Nathanial DePriest　兼任講師、Brylko Arina　兼任講師　：　英語コミュニケーションⅠ
園部　ニコル　准教授、Brown Patricia Sharon　兼任講師、Mahmud Muhammad Al 兼任講師、Steven Sager　兼任講師　：　英語コミュニケーションⅡ
草場　聡宏　教授、植田　友貴　准教授、大塚　和良　講師、葛原　誠太　講師、小形　幸平　助教、高元　宗一郎　兼任講師、徳山　鐘三　兼任講師、猿澤　雄一　兼任講師　：　データサイエンス入門
小形　幸平　助教、川邊　浩史　兼任講師、只木　進一　兼任講師、竹下　真帆　兼任講師、春田　大河　：　データサイエンス演習高大接続科目が後期開講となったことに伴い就任年月の変更
山田　力也　教授、三嶋　敏雄　教授、大川　裕行　教授、久野　一恵　教授、久保　温子　教授、栗原　淳　教授、小林　幸恵　教授、髙尾　兼利　教授、滝　麻衣　教授、田中　麻里　教授、中島　洋子　教授、西村　喜文　教授、原口　健三　教授、日野　久美子　教授　教授、堀田　徳子　教授、四元　博晃　教授、新井　馨　准教授、池田　佐知子　准教授、市川　浩　准教授、應戸　麻美　准教授、川島　睦子　准教授、岸川　由紀　准教授、佐々木　隆夫　准教授、中園　照美　准教授、西尾　美登里　准教授、八谷　瑞紀　准教授、平原　直子　准教授、福山　隆志　准教授、藤田　史恵　准教授、松谷　信也　准教授、松藤　泰代　准教授、横田　聡　准教授、大坪　奈保　講師、甲木　秀典　講師、土井　幸治　講師、三隅　幸子　講師、松本　麻希　助教

・兼担教員職位の誤記修正
福山　隆志　教授　→　福山　隆志　准教授

・専任教員の退任
管原　正志　教授

【令和７年度】

・改正後大学設置基準（令和４年10月１日施行）の適用に伴う教員区分の変更

・主要授業科目を下線にて追加

・令和７年度就任
山下　義行　教授、新井　友梨　講師、大村　綾　准教授、本田　和也　准教授、加藤　優汰　助教、高野　佳範　助教

・職名変更
只木　進一　兼任講師→教授、池田　佐知子　准教授→教授、甲木　秀典　講師→准教授、葛原　誠太　講師→准教授、松尾　萌美　講師→准教授

・教育充実のため、担当者として追加（新規開講含む）
只木　進一　教授、山下　義行　教授、新井　友梨　講師　：　あすなろう
坂本　飛鳥　講師、宮脇　博巳　兼任講師　：　地球環境・SDGs入門
周　嵐　兼任講師　：　日本語Ⅰ
Trinh Thi Ngoc Lan　兼任講師　：　日本語Ⅱ
福元　健志　：　日本語Ⅲ
周　嵐　兼任講師　：　日本語検定Ⅰ
Trinh Thi Ngoc Lan　兼任講師　：　日本語検定Ⅱ
福元　健志　：　日本語検定Ⅲ
古賀　浩二　教授、山下　義行　教授、只木　進一　教授、木村　延明　准教授　：　情報処理演習
小林　大作　兼任講師、山口　郁準　兼任講師、吉村　隆樹　兼任講師、吉本　真一郎　兼任講師　：　デジタル・コミュニケーション支援学演習
新井　友梨　講師　：　テレコミュニケーション倫理
山﨑　功　兼任講師　：　地域デザイン論

・所属学部等の都合による担当者変更
近藤　芳昭　教授、滝　麻衣　教授、山中　亮　教授、押川　武志　准教授、岸川　由紀　准教授、高野　佳範　助教　：　あすなろう
栗原　淳　教授、中島　慎一　准教授　：　地球環境・SDGs入門
大村　綾　准教授　：　関連職種連携入門
利光　恵　教授　：　心理学入門
松尾　弘毅　兼任講師　：　肥前の歴史と文化
Trinh Thi Ngoc Lan　兼任講師　：　グローバル化と異文化共生
甲木　秀典　准教授　：　フィットネス・スポーツ
平野　貴章　兼任講師　：　ウェルネス・スポーツ
本田　和也　准教授、大村　綾　准教授、加藤　優汰　助教　：　保育学・教育学へのとびら
只木　進一　教授、山下　義行　教授、新井　友梨　講師　：　データサイエンスへのとびら
Sebastiano Carboni、Gareth Newbold　：　英語コミュニケーションⅠ
Gareth Newbold　：　World Issues（世界事情）
只木　進一　教授、山下　義行　教授、木村　延明　准教授　：　データサイエンス入門
山下　義行　教授、木村　延明　准教授　：　データサイエンス演習
山田　健一郎　：　NPO・NGO論
利光　恵　：　臨床心理学概論
異文化理解　：　福元　健志
Sebastiano Carboni　兼任講師　：　TOEICⅠ
Sebastiano Carboni　兼任講師　：　TOEICⅡ
Sebastiano Carboni　兼任講師　：　Academic EnglishⅠ
Sebastiano Carboni　兼任講師　：　Academic EnglishⅡ
木村　延明　准教授：　情報数学入門
山下　優　：　情報ネットワーク論
只木　進一　教授、山下　義行　教授　：　社会データ分析
只木　進一　教授、山下　義行　教授　：　社会データ分析演習
新井　友梨　講師　：　教育とコミュニケーション
新井　友梨　講師　：　PBLゼミナールⅠ
新井　友梨　講師　：　PBLゼミナールⅡ

(注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合**は、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。
原則としてＡＣ教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。
なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、ＡＣ教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、ＡＣ教員審査の受審を求めていた事由が発生する場合は、ＡＣ教員審査を受審する必要があります。
・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（令和６年度開設であれば令和５年度以前）の表は適宜削除してください。

（２） 基幹教員数等

(注)・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「（２）-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「（２）-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

（２）－① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数（α）	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数（（α）の４分の３以上）
10 名	5 名	8 名

(注)・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

（２）－② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（A″）	助手（A′）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（B″）	助手（B′）
11	3	3	0	17	－	0	12	5	3	1	21	21	0
（ 11 ）	（ 3 ）	（ 3 ）	（ 1 ）	（ 18 ）	（－）	（ 0 ）							
現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（C″）	助手（C′）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（D″）	助手（D′）
13	5	3	1	22	22	0	13	5	3	1	22	22	0
[2]	[2]	[ ]	[1]	[5]	[5]	[ ]	[2]	[2]	[ ]	[1]	[5]	[5]	[ ]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基一」及び「基専」の計」）」として記入してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和４年10月１日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
また、「計（Ａ）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（Ａ″）」欄には「－」を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（Ｂ））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（Ｃ））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
教授：68 准教授：65 その他の教員：60 歳	3 名	4 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{22}{17} = \boxed{129.41}\ \%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C″)}}{\text{設置時の計画(A″)}} = \frac{22}{-} = \boxed{-}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{3}{21} = \boxed{14.28}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C′)}}{\text{設置時の計画(A′)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２） 基幹教員数等

(注)・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「（２）-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「（２）-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

（２）－① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数（α）	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数（（α）の４分の３以上）
11 名	6 名	9 名

(注)・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

（２）－② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（A″）	助手（A′）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（B″）	助手（B′）
10	3	6	0	19	－	6	8	3	5	0	16	16	5
(10)	(4)	(5)	(0)	(19)	(－)	(6)							

現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（C″）	助手（C′）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（D″）	助手（D′）
8	3	5	0	16	16	5	8	3	5	0	16	16	5
[△2]	[ ]	[△1]	[ ]	[△3]	[ ]	[△1]	[△2]	[ ]	[△1]	[ ]	[△3]	[ ]	[△1]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基一」及び「基専」の計」）」として記入してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和４年10月１日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
また、「計（A）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（A″）」欄には「－」を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{16}{19} = \boxed{84.21}\ \%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C″)}}{\text{設置時の計画(A″)}} = \frac{16}{－} = \boxed{－}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{●●}{16} = \boxed{\text{\#VALUE!}}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C′)}}{\text{設置時の計画(A′)}} = \frac{5}{6} = \boxed{83.33}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２） 基幹教員数等

(注)・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「（２）-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「（２）-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

（２）－① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数（α）	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数（（α）の４分の３以上）
8 名	4 名	6 名

(注)・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

（２）－② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（A″）	助手（A′）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（B″）	助手（B′）
6	5	1	0	12	－	0	5	5	1	0	11	11	0
（５）	（５）	（１）	（０）	（11）	（－）	（０）							
現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（C″）	助手（C′）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（D″）	助手（D′）
5	5	1	0	11	11	0	5	5	1	0	11	11	0
[△1]	[ ]	[ ]	[ ]	[△1]	[ ]	[ ]	[△1]	[ ]	[ ]	[ ]	[△1]	[ ]	[ ]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基一」及び「基専」の計」）」として記入してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和４年10月１日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
また、「計（A）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（A″）」欄には「－」を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{11}{12} = \boxed{91.66}\ \%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C″)}}{\text{設置時の計画(A″)}} = \frac{11}{－} = \boxed{－}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{●●}{11} = \boxed{\text{\#VALUE!}}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C′)}}{\text{設置時の計画(A′)}} = \frac{0}{0} = \boxed{－}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２） 基幹教員数等

(注)・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「（２）-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「（２）-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

（２）－① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数（α）	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数（（α）の４分の３以上）
10 名	5 名	2 名

(注)・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

（２）－② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（A″）	助手（A′）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（B″）	助手（B′）
6	2	2	0	10	－	0	6	4	1	0	11	11	0
（ 6 ）	（ 2 ）	（ 2 ）	（ 0 ）	（ 10 ）	（－）	（ 0 ）							
現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（C″）	助手（C′）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（D″）	助手（D′）
6	4	1	0	11	11	0	6	4	1	0	11	11	0
[ ]	[2]	[△1]	[ ]	[1]	[ ]	[ ]	[ ]	[2]	[△1]	[ ]	[1]	[ ]	[ ]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基一」及び「基専」の計」）」として記入してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和４年10月１日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
また、「計（A）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（A″）」欄には「－」を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{11}{10} = \boxed{110}\ \%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C″)}}{\text{設置時の計画(A″)}} = \frac{11}{-} = \boxed{-}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{●●}{11} = \boxed{\text{\#VALUE!}}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C′)}}{\text{設置時の計画(A′)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２） 基幹教員数等

(注)・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「（２）-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「（２）-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

（２）－① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数（α）	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数（（α）の４分の３以上）
14 名	7 名	11 名

(注)・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

（２）－② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（A″）	助手（A′）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（B″）	助手（B′）
8	8	2	0	18	－	2	9	8	1	2	20	20	0
（ 9 ）	（ 7 ）	（ 2 ）	（ 2 ）	（ 20 ）	（ － ）	（ 0 ）							
現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（C″）	助手（C′）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（D″）	助手（D′）
9	8	1	2	20	20	0	9	8	1	2	20	20	0
［ 1 ］	［ △1 ］	［ △1 ］	［ 2 ］	［ 2 ］	［ ］	［△2］	［ 1 ］	［ △1 ］	［ △1 ］	［ 2 ］	［ 2 ］	［ ］	［△2］

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基一」及び「基専」の計」）」として記入してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和４年10月１日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
また、「計（A）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（A″）」欄には「－」を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

現在（報告時）の完成年度時の状況（C） / 設置時の計画（A） = 20 / 18 = 111.11 %

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】

現在（報告時）の完成年度時の状況（C″） / 設置時の計画（A″） = 20 / － = － %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 / 現在（報告時）の状況（B） = ●● / 20 = #VALUE! %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在（報告時）の完成年度時の状況（C′） / 設置時の計画（A′） = 0 / 2 = 0 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２） 基幹教員数等

(注)・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「（２）-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「（２）-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

（２）－① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数（α）	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数（（α）の４分の３以上）
14 名	7 名	11 名

(注)・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

（２）－② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（A″）	助手（A′）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（B″）	助手（B′）
5	3	1	0	9	－	1	5	3	1	1	10	10	0
（５）	（３）	（１）	（１）	（９）	（－）	（０）							

現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（C″）	助手（C′）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（D″）	助手（D′）
5	3	1	1	10	10	0	5	3	1	1	10	10	0
[ ]	[ ]	[ ]	[1]	[ ]	[ ]	[△1]	[ ]	[ ]	[ ]	[1]	[ ]	[ ]	[△1]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基一」及び「基専」の計」）」として記入してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和４年10月１日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
また、「計（A）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（A″）」欄には「－」を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{10}{9} = \boxed{111.11}\ \%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C″)}}{\text{設置時の計画(A″)}} = \frac{10}{-} = \boxed{-}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{●●}{10} = \boxed{\text{\#VALUE!}}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C′)}}{\text{設置時の計画(A′)}} = \frac{0}{1} = \boxed{0}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２） 基幹教員数等

(注)・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「（２）-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「（２）-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

（２）－① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数（α）	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数（（α）の４分の３以上）
14 名	7 名	11 名

(注)・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

（２）－② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（A″）	助手（A′）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（B″）	助手（B′）
3	5	1	0	9	－	1	4	5	0	1	10	10	0
（４）	（４）	（１）	（０）	（９）	（－）	（１）							
現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（C″）	助手（C′）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（D″）	助手（D′）
4	5	0	1	10	10	0	4	5	0	1	10	10	0
[１]	[ ]	[△1]	[１]	[１]	[１]	[△1]	[１]	[ ]	[△1]	[１]	[１]	[ ]	[△1]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基一」及び「基専」の計」）」として記入してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和４年10月１日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
また、「計（A）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（A″）」欄には「－」を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】
現在（報告時）の完成年度時の状況（C） / 設置時の計画（A） ＝ 10 / 9 ＝ 111.11 %

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】
現在（報告時）の完成年度時の状況（C″） / 設置時の計画（A″） ＝ 10 / － ＝ － %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 / 現在（報告時）の状況（B） ＝ ●● / 10 ＝ #VALUE! %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在（報告時）の完成年度時の状況（C′） / 設置時の計画（A′） ＝ 0 / 1 ＝ 0 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２） 基幹教員数等

(注)・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「（２）-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「（２）-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

（２）－① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数（α）	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数（（α）の４分の３以上）
6 名	3 名	5 名

(注)・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

（２）－② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（A″）	助手（A′）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（B″）	助手（B′）
8	7	2	0	17	－	1	7	8	1	1	17	16	0
（７）	（７）	（１）	（０）	（15）	（－）	（１）							

現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（C″）	助手（C′）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（D″）	助手（D′）
7	8	1	1	17	16	0	7	8	1	1	17	16	0
[△1]	[１]	[△1]	[１]	[ ]	[ ]	[△1]	[△1]	[１]	[△1]	[１]	[ ]	[ ]	[△1]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基一」及び「基専」の計」）」として記入してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和４年10月１日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
また、「計（A）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（A″）」欄には「－」を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】
現在（報告時）の完成年度時の状況（C） / 設置時の計画（A） ＝ 17 / 17 ＝ 100 %

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】
現在（報告時）の完成年度時の状況（C″） / 設置時の計画（A″） ＝ 16 / － ＝ － %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 / 現在（報告時）の状況（B） ＝ ●● / 17 ＝ #VALUE! %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在（報告時）の完成年度時の状況（C′） / 設置時の計画（A′） ＝ 0 / 1 ＝ 0 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２） 基幹教員数等

(注)・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「（２）-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「（２）-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

（２）－① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数（α）	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数（（α）の４分の３以上）
7 名	4 名	6 名

(注)・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

（２）－② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（A″）	助手（A′）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（B″）	助手（B′）
4	2	1	1	8	－	0	4	3	0	1	8	8	0
（４）	（３）	（０）	（１）	（８）	（－）	（０）							
現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（C″）	助手（C′）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（D″）	助手（D′）
4	3	0	1	8	8	0	4	3	0	1	8	8	0
[ ]	[１]	[△1]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[１]	[△1]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基一」及び「基専」の計」）」として記入してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和４年10月１日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
また、「計（A）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（A″）」欄には「－」を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

現在（報告時）の完成年度時の状況（C） / 設置時の計画（A） = 8 / 8 = 100 %

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】

現在（報告時）の完成年度時の状況（C″） / 設置時の計画（A″） = 8 / － = － %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 / 現在（報告時）の状況（B） = ●● / 8 = #VALUE! %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在（報告時）の完成年度時の状況（C′） / 設置時の計画（A′） = 0 / 0 = － %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２） 基幹教員数等

(注)・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「（２）-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「（２）-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

（２）－① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数（α）	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数（（α）の４分の３以上）
12 名	6 名	9 名

(注)・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

（２）－② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（A″）	助手（A′）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（B″）	助手（B′）
9	8	9	2	28	－	2	8	6	7	3	24	24	2
（ 10 ）	（ 8 ）	（ 9 ）	（ 2 ）	（ 29 ）	（ － ）	（ 2 ）							
現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（C″）	助手（C′）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（D″）	助手（D′）
8	6	7	3	24	24	2	8	6	7	3	24	24	2
［ △1 ］	［ △2 ］	［ △2 ］	［ 1 ］	［△4］	［ ］	［ ］	［ △1 ］	［ △2 ］	［ △2 ］	［ 1 ］	［△4］	［ ］	［ ］

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基一」及び「基専」の計」）」として記入してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和４年10月１日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
また、「計（A）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（A″）」欄には「－」を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
●● 歳	●● 名	●● 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{24}{28} = \boxed{85.71}\ \%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C″)}}{\text{設置時の計画(A″)}} = \frac{24}{－} = \boxed{－}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{●●}{24} = \boxed{\text{\#VALUE!}}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C′)}}{\text{設置時の計画(A′)}} = \frac{2}{2} = \boxed{100}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 基幹（専任）教員辞任等の理由

（３）－①　基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					

合計（Ｄ）			後任補充状況の集計（Ｅ）							
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0　人	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目
	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目
	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目
	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目

(注)・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	管原　正志	R7.3	必修	あすなろう	①	R7.3.31付け体調不良のため辞任（７）
				必修	地球環境・SDGs入門	②	
				選択	教育とコミュニケーション	①	
				選択	ボランティア活動	③	
				必修	PBL特別演習	③	
				必修	PBLゼミナールⅠ	①	
				必修	PBLゼミナールⅡ	①	
				必修	PBLゼミナールⅢ	③	
				必修	PBLゼミナールⅣ	③	
				必修	卒業研究	③	

合計（Ｆ）			後任補充状況の集計（Ｇ）							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1　人	必修	8　科目	必修	3　科目	必修	1　科目	必修	4　科目
	選択	2　科目	選択	1　科目	選択	0　科目	選択	1　科目
	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目
	計	10　科目	計	4　科目	計	1　科目	計	5　科目

(注)・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。
（学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、
「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③　上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（Ｄ）＋（Ｆ）			後任補充状況の集計（Ｅ）＋（Ｇ）							
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1　人	必修	8　科目	必修	3　科目	必修	1　科目	必修	4　科目
	選択	2　科目	選択	1　科目	選択	0　科目	選択	1　科目
	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目
	計	10　科目	計	4　科目	計	1　科目	計	5　科目

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③\text{合計}(D)+(F)}{(2)-②\text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{17} = 5.88\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤　令和６年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

1	人

(注)・（３）－①、（３）－②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。
・令和７年度開設の学科等の場合、（D）＋（F）と同数を記載してください。

（３）－⑥　定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				

合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0　人	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目
	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目
	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目
	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目

(注)・ **定年により退職した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４） 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当学環の基幹教員を令和６年度に１名、令和７年度に３名増員しており、これらの基幹教員にて科目を引き継いで対応する予定のため、問題は生じないと考える。学生に対してもゼミ活動等の中で必要に応じて周知を行う。

(注)・ 上記（３）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
認　可　時 （令和5年）	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	【届出】 遵守事項	学環の専任教員には、既に定年を超える者や完成年度を迎えるまでに定年を超える者が含まれるが、それらの教員については定年を延長する時限規定を設けている。また、若年層の雇用を確保するため、教員組織編制を検討し、令和6年4月から、助教を1名採用している。（6） 若年層の雇用を確保するため、教員組織編制を検討し、令和6年9月から、准教授を1名、令和7年4月から講師1名を採用している。（7）	履行中	令和6年9月より、准教授1名の採用を計画している（6）
認　可　時 （令和5年）	子ども学部心理カウンセリング学科の収容定員超過の是正に努めること。	【届出】 遵守事項	令和６年度の子ども学部心理カウンセリング学科における、入学者は41名（１年次生収容定員40名）であり、是正に努めている。（6） 令和７年度の子ども学部心理カウンセリング学科における、入学者は50名（１年次生収容定員40名）であり、是正に努めている。（7）	履行中	今後も、入学者の適正な受け入れ数を検討していく。（6）（7）
認　可　時 （令和5年）	健康福祉学部社会福祉学科の収容定員未充足の是正に努めること。	【届出】 遵守事項	学部等連係課程（デジタル社会共創学環）を届出にて設置し、社会福祉学科の定員30名を、学環の定員とした。（6） 令和７年度入学生より20名減（編入定員含む）の「収容定員に係る学則変更届」を提出した。（7）	履行中	令和７年度入学生より20名減（編入定員含む）の「収容定員に係る学則変更届」を提出予定である。（6）
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和6年）	教育内容の充実等を通じ、収容定員未充足の改善に努めること。 （デジタル社会共創学環）	【ＡＣ】 指摘事項 （改善）	教育内容等の充実のため、新規開講科目を追加すると共に、基幹教員も新規で採用している。（7）	履行中	令和8年4月より、教授1名の採用を計画している（7）

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。） と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

【令和６年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和６年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

【令和６年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和６年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）（７）」と記載してください。

【令和７年度から新たに調査対象となった学科等又は令和６年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7　その他全般的事項

＜デジタル社会共創学環＞

（1） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

① 実施体制

ａ 委員会の設置状況

・西九州大学ファカルティ・ディベロップメント委員会を置き、ＦＤ活動を実施している。
※西九州大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程を添付

ｂ 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

・令和6年度は4、6、10月の対面会議と3月にメール会議を開催。
委員構成は副学長、研究科長、各学部長、教務部長、教務部副部長、各学部・専攻教員、事務局長の計30名。

ｃ 委員会の審議事項等

・中期目標・中期計画に基づくアクションプログラムの令和6年度活動状況の確認と令和7年度活動計画について
・ＦＤの開催について
・授業評価アンケートの実施について

② 実施状況

ａ 実施内容

令和６年度のＦＤ研修会は以下のテーマにて実施した。

１）新任教職員向けＦＤ

２）学生募集における高校生視点を考える

３）大学におけるダイバーシティ推進、ダイバーシティセンターの現状と課題

４）留学生支援における課題と解決策について

ｂ 実施方法

１）佐賀キャンパスにて対面形式による講演、各キャンパスを回るキャンパスツアーを実施。

２）～５）神埼キャンパスは対面形式による講演、佐賀・小城キャンパスへは遠隔同時配信にて実施。
当日欠席者には、講演を録画した動画を配信。

c　開催状況（教員の参加状況含む）

１）令和6年4月2日開催。新任教職員14名参加。

２）令和6年5月2日開催。学部教員98名参加。

３）令和6年8月1日開催。学部教員100名参加。

４）令和6年11月14日開催。学部教員103名参加。

５）令和6年12月12日開催。学部教員108名参加。

d　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

１）新任教職員に対して、本学の教務事項・学生支援事項の説明を行い、理解を深めてもらった。

２）参加型のオープンキャンパス、ソーシャルネットワークを活用した学生募集などが説明され、学生のトレンドにあった大学づくりへの意識醸成につながった。

３）外部講師による他大学のダイバーシティへの取り組みと、本学のダイバーシティセンターの現状説明の２部構成により、本学が今後取り組んでいくべき課題への理解が深まった。

４）外部講師による他大学の留学生の状況や出身国別の特徴などの事例共有が行われ、留学生が増加している本学においても非常に有用な情報が得られた。

５）基幹教員制度の導入に関する説明、左記に伴う教員配置の見直しやカリキュラムの適正化に関する説明が行われ、本学の将来構想を理解するうえでの貴重な機会となった。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a　実施の有無及び実施時期

前学期と後学期の学期末にWebによる調査（選択式及び記述式、前期7月・後期1月）1回実施。

b　教員や学生への公開状況、方法等

各教員の集計結果について当該教員へポータルサイトにて周知するとともに、学生も閲覧できるよう「学生による授業評価アンケートに関する報告書」を図書館及び大学ホームページで公開。

(注)・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当無し

（4） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

デジタル社会共創学環では、令和6年度4月開設時に42名、令和7年度は53名の入学生を受け入れた。設置届出計画通りのカリキュラムに沿った授業を展開し、入学時のガイダンスでは、西九州大学における３つの方針及びデジタル社会共創学環の３つの方針について具体的に説明している。また、入学生の約半数が留学生であることもあり、履修モデルに添った科目選択の指導等は、特に丁寧に行っている。なお、現在入学定員充足には至っていないが、教育内容等の充実のため、新規開講科目を追加すると共に、基幹教員も新規で採用している。今後は、学環（学部等連係課程）の目的や特色の周知を図り、入学者の確保に繋げたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・「西九州大学点検・評価に関する規程」第8条に基づき、4年を超えない範囲で公表する。

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開（令和6年度は公開済）

③ 認証評価を受ける計画

・令和６年に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けた。

(注)・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和７年度）

a 公表予定の有無 〔 （有） ・ 無 〕

≪ａで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 〔（調査結果公表後１ヶ月以内） ・ 公表後２～３ヶ月以内 ・ 公表後３ヶ月以降 〕

c 公表方法 〔（ウェブサイトへの掲載 ・） その他（ ） 〕

≪ａで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 〔 〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

西九州大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程

（趣旨）

第１条　西九州大学（以下「本学」という。）のファカルティ・ディベロップメント委員会　（以下「委員会」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

（目的）

第２条　委員会は、本学の教育の理念・目標及び教育内容・方法に関する組織的な研究、研修の円滑な実施を図ることを目的とする。

（業務）

第３条　委員会は、前条に掲げる目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

（１）定期的なファカルティ・ディベロップメント講演会、研修会等の企画及び実施に関すること。

（２）その他本学のファカルティ・ディベロップメントに関すること。

（組織）

第４条　委員会は次に掲げる委員をもって組織する。

（１）副学長

（２）生活支援科学研究科長

（３）各学部長・学環長

（４）教務部長

（５）教務部副部長

（６）各学科・学環から選出された専任教員２人

（７）事務局長

（任期）

第５条　前条第６号の委員の任期は２年とし、再任を妨げない。

２　前条第６号の委員に欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長）

第６条　委員会には委員長を置き、委員長は副学長をもって充てる。

２　委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

３　委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員が、その職務を代行する。

（会議の開催及び議決）

第７条　委員会は、委員長が必要と認めたとき、又は過半数の委員から要請があったときに、委員長が招集する。

２　委員会は、委員の３分の２以上の出席がなければ会議を開くことができない。

３　委員会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

（委員以外の出席）

第８条　委員会が必要と認めたときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、意見を聞くことができる。

（専門委員会）

第９条　事業を円滑に遂行するために、委員会が必要と認めたときは専門委員会を置くことができる。

２　委員会が必要と認めた時は、専門委員会に委員以外の者を加えることができる。

（事務局）

第１０条　委員会に関する事務は、教務課において処理する。

（雑則）

第１１条　この規程に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附　則（平成２１年７月１６日　制定）

１　この規程は、平成２１年７月１６日から施行し、平成２１年４月１日から適用する。

２　この規程施行後、最初に委嘱される第４条第１項第５号に規定する委員の任期は、第５条第１項の規定にかかわらず、平成２３年３月３１日までとする。

附　則（平成２４年５月１７日）

この規程は、平成２４年５月１７日から施行し、平成２４年４月１日から適用する。

附　則（平成２６年３月６日）

１　この規程は、平成２６年４月１日から施行する。

２　社会福祉学科、スポーツ健康福祉学科及び心理カウンセリング学科の委員は、第４条第１項第６号の規定にかかわらず当分の間１人とする。

附　則（平成２７年２月２５日）

１　この規程は、平成２７年４月１日から施行する。

附　則（令和６年５月２３日）

１　令和６年５月２３日から施行し、令和６年４月１日から適用する。

２　デジタル社会共創学環の委員は、第４条第１項第６号の規定にかかわらず当分の間１人とする。